

山口県外来種リスト

平成30年(2018年)3月
山 口 県

目 次

1	目的	1
2	検討体制	1
	山口県希少野生動植物保護対策検討委員会・委員名簿	1
	山口県希少野生動植物保護対策検討委員会・調査検討専門部会名簿	2
3	外来種の選定	4
(1)	選定対象生物群	4
(2)	外来種の定義	4
(3)	外来種の区分	4
(4)	リスト記載項目の解説	4
4	県内への外来種侵入状況（生物群別概要）	6
	山口県外来種リスト掲載種数一覧	9
5	山口県外来種リスト	10
(1)	ほ乳類	10
(2)	鳥類	11
(3)	両生類	13
(4)	は虫類	14
(5)	淡水産魚類	15
(6)	甲殻類	17
(7)	昆虫類	18
(8)	クモ類	24
(9)	陸・淡水産貝類	25
(10)	植物（維管束植物）	26
(11)	植物（コケ植物）	50

1 目的

本県で確認される1万3千種の野生動植物には、本来の生息・生育域から外れ、人間の活動によって海外などから持ち込まれた外来種が数多く含まれている。これらの中には、長い年月をかけ、県内の生態系の構成要素として認識されている種もいるが、特定外来生物のように生態系のみならず、人の生命・身体、農林水産業などへ多大な被害を及ぼす種が存在しており、本県の生物多様性や県民生活を脅かす大きな要因となっている。また、近年のペットブームや物流システムの発展などに伴い、意図的・非意図的を問わず県内への外来種の侵入は増加傾向にあり、新たな外来種の定着を未然に防止する取組が必要となっている。

こうした状況の中、県では、県内の外来種の侵入状況を明らかにするため、平成27年度から山口県外来種リスト作成の検討を進めてきた。本リストでは、生態系等への被害の度合や侵入時期等に係わらず県内の野生下で確認されたすべての外来種をリスト化しており、様々な主体が行う外来種対策の基礎資料とするとともに、県民の外来種問題への関心を高め、適切な行動を促すためのツールとして活用するものである。

2 検討体制

外来種リスト掲載種の選定は、山口県希少野生動植物保護対策検討委員会の下に、各生物群の専門家による8つの調査検討専門部会を設置して情報の整理、検討を行った。

山口県希少野生動植物保護対策検討委員会・委員名簿

分野	氏名	所属等
自然環境	澤井 長雄 (~H27.9)	山口大学大学院創成科学研究科(理学系) 准教授
	源田 智子 (H27.10~)	山口大学教育学部 准教授
ほ乳類	田中 浩	山口県立山口博物館 主査
	○松村 澄子	元 山口大学大学院理工学研究科 准教授
鳥類	小林 繁樹	(公財)日本野鳥の会山口県支部 調査研究部長
	原田 量介	(公財)日本野鳥の会山口県支部 支部長 山口県立きらら浜自然観察公園 園長
両生類・は虫類	徳本 正	萩市立見島小中学校 校長
淡水産魚類	酒井 治己	水産大学校 校長
昆虫類・クモ類	小林 淳	山口大学大学院創成科学研究科(農学系) 教授・農学部長
	山中 明	山口大学大学院創成科学研究科(理学系) 教授
	稲田 博夫	山口むしの会 副会長
陸・淡水産貝類	増野 和幸	豊田ホテルの里ミュージアム 館長
甲殻類	林 健一	水産大学校 名誉教授
植物	南 敦	山口植物学会 会長
	眞崎 久	山口県立田布施農工高等学校 教諭
	鶴谷 保	山口県立宇部高等学校 教諭
	高田 義弘	山口県立宇部中央高等学校 教諭

(注1) 「○」は委員長

(注2) 所属は平成30年3月1日現在のもの

(注3) 括弧書き年月は委嘱時期

山口県希少野生動植物保護対策検討委員会・調査検討専門部会名簿

ほ乳類専門部会

石田 麻里	美祢市立秋吉台科学博物館 学芸員
栗原 望	宇都宮大学農学部 講師
田戸 裕之	山口県農林総合技術センター 専門研究員
○田中 浩	山口県立山口博物館 主査
細井 栄嗣	山口大学大学院創成科学研究科(農学系) 准教授
松村 澄子	元山口大学大学院理工学研究科 准教授

鳥類専門部会

開作 秀敏	日本野鳥の会山口県支部 事務局長
○小林 繁樹	日本野鳥の会山口県支部 調査研究部長
立野 昌宏	日本野鳥の会山口県支部 幹事
原田 量介	日本野鳥の会山口県支部 支部長
弘津 聖也	日本野鳥の会山口県支部 幹事
村本 和之	日本野鳥の会山口県支部 副支部長
故 山根 和親	日本野鳥の会山口県支部 副支部長
<調査員>	
浅田 晴男	日本野鳥の会山口県支部 会員
上野 俊士郎	日本野鳥の会山口県支部 幹事
梶畑 哲二	日本野鳥の会山口県支部 会員
川口 哲男	日本野鳥の会山口県支部 幹事
鹿間 信弘	日本野鳥の会山口県支部 幹事
大島 文雄	日本野鳥の会山口県支部 副支部長
寺本 明広	日本野鳥の会山口県支部 幹事
天賀 保義	日本野鳥の会山口県支部 会員
豊田 敏則	日本野鳥の会山口県支部 幹事
三谷 栄治	日本野鳥の会山口県支部 幹事
村中 政文	日本野鳥の会山口県支部 幹事
山本 浩	日本野鳥の会山口県支部 会員
渡邊 徹	日本野鳥の会山口県支部 幹事
渡邊 保尊	日本野鳥の会山口県支部 幹事

両生類・は虫類専門部会

大川 博志	広島女学院大学、広島学院中高等学校 非常勤講師
田原 義寛	山口かえる米倶楽部 代表
○徳本 正	萩市立見島小中学校 校長
村田 満	山口高川学園 高川学園中学校・高等学校 教諭

淡水産魚類専門部会

○酒井 治己	水産大学校 校長
畑間 俊弘	山口県水産研究センター内海研究部 専門研究員

甲殻類専門部会

荒木 晶	水産大学校 准教授
○林 健一	水産大学校 名誉教授
原田 直宏	山口カブトガニ研究懇話会 代表

昆虫類・クモ類専門部会

<昆虫類>

伊ヶ崎 伸彦	山口むしの会	会員
稲田 博夫	山口むしの会	副会長
柿沼 進	山口むしの会	会員
川元 裕	山口むしの会	会員
○後藤 和夫	山口むしの会	会長
後藤 益滋	山口むしの会	会員
五味 清	山口むしの会	会員
重中 良之	山口むしの会	会員
下野 誠之	山口むしの会	会員
辻 雄介	山口むしの会	会員
中村 孝	山口むしの会	会員
伴 一利	山口むしの会	会員
福田 竹美	山口むしの会	事務局長
椋木 博昭	山口むしの会	会員
村田 淳	山口むしの会	会員

<クモ類>

増原 啓一	日本蜘蛛学会	会員
-------	--------	----

<アドバイザー>

小林 淳	山口大学大学院創成科学研究科(農学系)	教授・農学部長
山中 明	山口大学大学院創成科学研究科(理学系)	教授

陸・淡水産貝類専門部会

河上 勲	元萩市郷土博物館	学芸委員
杉村 智幸	山口市立平川小学校	教諭
○増野 和幸	豊田ホテルの里ミュージアム	館長
湊 宏	日本貝類学会	評議員
矢野 重文	日本貝類学会	評議員

植物専門部会

<維管束植物>

秋丸 浩毅	山口植物学会	会員
杉江 喜寿	山口県立山口博物館	主査
高田 義弘	山口県立宇部中央高等学校	教諭
鶴谷 保	山口県立宇部高等学校	教諭
眞崎 久	山口県立田布施農工高等学校	教諭
松本 秀樹	山口県立柳井高等学校	教諭
○南 敦	山口植物学会	会長
吉岡 龍太郎	山口県立山口中央高等学校	教頭

<コケ植物>

林 正典	日本蘚苔類学会	会員
------	---------	----

<調査員>

岡村 敏子	山口植物学会	会員
山根 文人	山口県植物研究会	会員
吉田 紀美子	山口植物学会	会員

(注1)「○」は部会長

(注2)氏名は五十音順

(注3)所属は平成30年3月1日現在のもの

3 外来種の選定

本リストでは、生態系等への被害の有無に係わらず、県内の野生下で生息・生育が確認されたすべての外来種（国内由来を含む。）を選定した。選定にあたり対象とした生物群は、以下のとおりであり、県内における定着の有無により「定着種」と「記録種」に区分した。

また、外来種対策の方向性を表すカテゴリ区分については、本県独自の評価は行わず、平成27年3月に環境省及び農林水産省が公表した「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト（生態系被害防止外来種リスト）」の区分を記載した。

(1) 選定対象生物群

対象とした生物群は、次のとおりであり、陸域・淡水産（生活史の一部を陸水域で過ごす生物を含む。）及び陸域ときわめて密接な関係を持つ海岸域の生物のみとし、純海産のものは除く。

① 動物

- ・脊椎動物：ほ乳類、鳥類、両生類・は虫類、淡水産魚類
- ・無脊椎動物：甲殻類、昆虫類・クモ類、陸・淡水産貝類

② 植物

- ・維管束植物：種子植物、シダ植物
- ・コケ植物

(2) 外来種の定義

区 分	定 義
外来種	導入（意図的・非意図的を問わず人為的に、過去あるいは現在の自然分布外へ移動させること。導入時期は問わない。）によりその自然分布域（その生物が本来有する能力で移動できる範囲により定まる地域）の外に生息する生物種
国外由来	外来種のうち、国内に自然分布域を有していない生物種
国内由来	国内（本県以外）に自然分布域を有しているが、その自然分布域を越えて県内に導入された生物種

(3) 外来種の区分

選定した外来種について、県内における自然状態での繁殖（再生産）の有無により、「定着種」と「記録種」に区分した。

ただし、過去に繁殖（再生産）が確認されたが、駆除等により消滅した種については、「記録種」として区分した。

区 分	定 義
定着種	自然状態での繁殖（再生産）により個体群を維持している種
記録種	自然状態での確認記録がある種（定着種以外）

(4) リスト記載項目の解説

① 特定外来生物

外来生物（国外由来の外来種）であって、生態系、人の生命・身体、農林水産業へ被害を及ぼすもの、又は及ぼすおそれがあるものの中から、「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」に基づいて指定された種。

特定外来生物は、生きているものに限られ、個体だけではなく、卵、種子、器官なども含まれる。

② 環境省等の外来種区分

環境省及び農林水産省が、平成 27 年 3 月 26 日に作成した「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト（生態系被害防止外来種リスト）」において、対策の方向性から分類されたカテゴリ区分。

定着を予防する外来種（定着予防外来種）

国内に未定着のもの。定着した場合に生態系等への被害のおそれがあるため、導入の予防や水際での監視、野外への逸出・定着の防止、発見した場合の早期防除が必要な外来種。

ア 侵入予防外来種【侵入予防】

国内に未侵入の種。特に導入の予防、水際での監視、バラスト水対策等で国内への侵入を未然に防ぐ必要がある。

イ その他の定着予防外来種【定着予防】

侵入の情報はあるが、定着は確認されていない種。

総合的に対策が必要な外来種（総合対策外来種）

国内に定着が確認されているもの。生態系等への被害のおそれがあるため、国、地方公共団体、国民など各主体がそれぞれの役割において、防除（野外での取り除き、分布拡大の防止等）、遺棄・導入・逸出防止等のための普及啓発など総合的に対策が必要な外来種。

ア 緊急対策外来種【総合緊急】

環境省、農林水産省及び国土交通省が示す「外来種被害防止行動計画」における対策の優先度の考え方にに基づき、被害の深刻度に関する基準として①～④のいずれかに該当することに加え、対策の実効性、実行可能性として⑤に該当する種。

イ 重点対策外来種【総合重点】

「外来種被害防止行動計画」における対策の優先度の考え方にに基づき、被害の深刻度に関する基準として①～④のいずれかに該当する種。

ウ その他の総合対策外来種【総合その他】

緊急対策外来種及び重点対策外来種以外の種

(参考) 外来種被害防止行動計画

緊急対策外来種、重点対策外来種における対策の優先度の考え方

《被害の深刻度に関する基準》

- ① 生態系に係る潜在的な影響・被害が特に甚大
- ② 生物多様性保全上重要な地域に侵入・定着し被害をもたらす可能性が高い
- ③ 絶滅危惧種等の生息・生育に甚大な被害を及ぼす可能性が高い
- ④ 人の生命・身体や農林水産業等社会経済に対して甚大な被害を及ぼす

《対策の実効性、実行可能性》

- ⑤ 防除手法が開発されている、又は開発される見込みがある等、一定程度の知見があり、対策の目標を立て得る

適切な管理が必要な産業上重要な外来種（産業管理外来種）【産業管理】

産業又は公益的役割において重要であり、現状では生態系等への影響がより小さく、同等程度の社会経済効果が得られるというような代替性がないため、利用において逸出等の防止のための適切な管理に重点を置いた対策が必要な外来種。

4 県内への外来種侵入状況（生物群別概要）

(1) ほ乳類

山口県に生息するほ乳類の中で、外来種と考えられる種は、齧歯目（ネズミ目）ドブネズミ・クマネズミ・ハツカネズミ・ヌートリア、食肉目チョウセンイタチ・アライグマ、ヤギの7種で、その中で、特定外来生物は、ヌートリアとアライグマの2種である。

ヌートリアは、平成21年に県内で初めて山口市阿東で死亡個体が確認され、阿武川流域で徐々に生息が拡大した。平成25年には山口市樫野川河口で生息が確認されると、流域内の本流・支流・ダム湖・ため池などで急激に数を増やした。平成29年には、ほぼ県内全域での生息が確認されており、さらに個体数が増加すると考えられる。

アライグマは、平成21年に萩市で死亡個体が確認され、萩市や山口市阿東での繁殖が確認されている。目撃情報や捕獲などは単発的で、繁殖確認エリアを中心に、徐々に数を増やしており、今後の生息地拡大が懸念される。

(田中 浩)

(2) 鳥類

山口県における鳥類では外来種の記録は28種が知られている。定着種はコリンウズラ、コジュケイ、亜種コウライキジ、アヒル、カワラバト（ドバト）、ソウシチョウ、ベニスズメ、キンパラの8種で、このほかに観察記録があるものとしてコブハクチョウ、バリケン、セキセイインコ、ガビチョウ、インドハッカ、ブンチョウなど20種が記録されている。そのなかで特定外来生物はソウシチョウ、ガビチョウの2種である。ソウシチョウは中国中南部から東南アジア北部原産のチメドリ科の小鳥で姿が美しく鳴き声がきれいなことから愛玩用として飼育されていた個体が逸出し、野生下で繁殖している。山口県では2004年に初めて確認された後、生息確認が県内各地から報告されており、繁殖時期にも県境付近の山地を中心にさえざりが確認され、繁殖しているものと思われる。ガビチョウはまだ山口県内での確認は少ないものの、近県では分布を広げており、分布拡大が懸念される。

(小林繁樹)

(3) 両生類・は虫類

両生類では、特定外来生物に指定されているウシガエルがリストアップされた。本種は県内の平野部を中心に広く生息が確認され、定着している。大型のカエルで移動能力があり、昆虫から小型ほ乳類まで口に入るものは何でも食べる。シーズンには数千から数万の卵を産み、繁殖能力にも優れている。そのため、生態系への影響が懸念される。

は虫類では、クサガメと生態系被害防止外来種リスト掲載種のミシシippアカミミガメとグリーンイグアナ、特定外来生物に指定されているカミツキガメがリストアップされた。クサガメは18世紀末に朝鮮半島や中国から移入されたと考えられている。県内では平野部を中心に広く生息が確認され、定着している。在来種のニホンイシガメと生息域が重なるため、競合や交雑が懸念されている。また、ミシシippアカミミガメもクサガメ同様に生息が確認され、定着している。ミシシippアカミミガメは、大型で動きが俊敏で産卵数も多いため、クサガメよりさらに競合性が高いと考えられる。他の2種はペットとしての需要が高いため、全国的に飼育個体の逸走や放逐等による定着事例が増加しているが、今のところ県内では数例の記録があるだけで、定着は確認されていない。

(徳本 正)

(4) 淡水産魚類

山口県内における国内外外来種の状況については、定着種が21種（国外由来8種、国内由来13種）、記録種が13種（国外由来10種、国内由来3種）の計34種がリストアップされた。

特徴として、遊漁対象として人気のある魚種（国外由来外来種では、ニジマス、ブラウントラウト、オオクチバス、カムルチー、国内由来外来種ではニッコウイワナ）が新たに侵入もしくは生息拡大傾向にある。人為管理下での適切な管理を条件に利用が認められている産業管理外来種（ニジマス、ブラウントラウト）の県内河川での新たな生息地や再生産も確認

され、適切な取扱が求められている。なお、ニッコウイワナについては、在来種のゴギ個体群への遺伝子汚染が懸念される。

また、永年行われてきた琵琶湖産アユの放流事業に伴い国内由来の移入魚が多く確認されることも、山口県を含めた西日本各県の特徴であろう。

(畑間俊弘)

(5) 甲殻類

アメリカザリガニの導入は、1927年(昭和2年)5月にウシガエルの餌として、アメリカ合衆国から輸入されたのが最初であるとされている。本種は生育環境の変化に対する適応性が広く、飼育し易いこともあって、移動や伝播が人間により簡単に行なわれた。その一部が自然界に新しい生息場を確保し、繁殖したものである。

昭和初期(1927~1928年)には山口市阿東町(旧嘉年村)でザリガニ(種名不詳)を県外から持ち帰り飼育したことや、1946年(昭和21年)には旧嘉年村各地にアメリカザリガニがみられたことが記録されている。山口県内への導入は、日本に導入された直後の1920年代の終わりか、1930年代のはじめではないかと推定される。

オカダンゴムシは、純陸産で日本各地に普通に出現している。古くは世界共通種とされ、テマリムシなどとも呼ばれていた。戦後は「ダンゴムシ」という呼称の時もあったが、体が丸くなる陸産等脚目3科(オカダンゴムシ科・コシビロダンゴムシ科・ハマダンゴムシ科)すべてに使われたために、オカダンゴムシと改名され、現在に至っている。大々的に人々の目に触れ、園芸雑誌などに害虫として認識されたのは大正時代(1912~1925年)になってからである。県内への侵入時も不明である。

(林 健一)

(6) 昆虫類・クモ類

昆虫類では、県内に生息が確認された種から外来種と考えられている種の抽出を行った。その結果、135種がリストアップされ、うち定着種が120種、記録種が15種となった。

昆虫類の特定外来生物では、アルゼンチンアリ、アカカミアリの2種が確認されている。アルゼンチンアリは、平成13年以降、岩国市、柳井市、宇部市、光市で生息が確認されている。アカカミアリについては、平成29年に防府市において、ベトナムから輸送された貨物コンテナ内で発見されているが、確認された個体はすべて駆除されている。

また、クモ類については、4種の記録種がリストアップされた。クモ類の特定外来生物では、ゴケグモ属の3種が確認されている。ゴケグモ属のうちセアカゴケグモについては、全国的にも分布が拡大しており、今後も貨物輸送に伴う県内への侵入が懸念される。

(後藤和夫)

(7) 陸・淡水産貝類

島国である我が国に棲息する陸棲の貝類はその移動性は小さく、また淡水棲の貝類はその生活環境である水域は限定されている。しかし、現在、人の移動や物流は世界的な規模で起こっている。その影響は貝類も受けざるを得ない。全国的にみても数多くの外来の貝類が日本に入ってきて、各地で繁殖・定着している実態がみられる。山口県においても例外ではなく、私たちの無意識的な物の持ち込み、あるいは食材の移動などを通じて、いくつかの移入・定着が確認されている。例えば陸と淡水の両方で生活するスクミリンゴガイ(ジャンボタニシ)は植え付け直後のイネ苗を食害する南米産のタニシ類。台湾産のシジミが輸入され移出したものが野外で繁殖し、在来のマシジミを駆逐している。在来種のナメクジはめっきり姿を消し、人家周辺で普通に見かけられ駆除の対象となっているのはヨーロッパ原産のチャコウラナメクジ。15年ほど前に小学校の花壇で見つかったオオクビキレガイは、現在県下全域に拡大した地中海沿岸に棲む陸貝である。被害の大小・有無は別として、現在までに16種類が定着している。

(増野和幸)

(8) 植物

① 維管束植物

山口県では、庭や道端、空き地、休耕地などはほとんど帰化植物である。ここでは、「レッドデータブックやまぐち(2002)」が刊行されて以後の帰化植物について述べたい。山口県の帰化植物はすでに相当の勢力をもっていたが、大幅に拡大したものに次がある。特定外来生物のオオキンケイギクは、主に宇部市、防府市などの海近くに群生していたが、周南市夜市の国道緑地帯まで広がった。イヌコモチナデシコはごく稀であったが、県内のほとんどの国道緑地帯や法面に密生した。シナダレスズメガヤは道路法面に相当見られたが、田布施町、平生町、上関町、周防大島町などでは、国道の道端や縁石に沿って密生した。マンテマ、コバンソウ、シロバナマンテマなどはほとんどの疎生地に密生した。タチスズメノヒエやアメリカスズメノヒエなどは多くの休耕地を満たした。

(南 敦)

② コケ植物

ミカヅキゼニゴケが日本で初めて確認されたのは、昭和4年のことで仙台市である。葉状体先端部に三日月型の無性芽器を付けることからその名を付けられている。生育環境は大都市やその近郊の人家近くの湿った土の上に群生する。日本では、東京、横浜付近、大阪、京都付近などで多く確認され、このような分布状況を考えるとコケ類の中での帰化植物と考えることが妥当である。

山口県では、1996年10月に岩国市横山で初めて確認されている。最近では人家の植木鉢等でも確認できることから県内各地に広く分布していると考えられる。

(林 正典)

山口県外来種リスト掲載種数一覧

分類群		県内で確認された外来種		計
		定着種	記録種	
動物	ほ乳類	7種 (2)		7種 (2)
	鳥類	8種 (1)	20種 (1)	28種 (2)
	両生類	1種 (1)		1種 (1)
	は虫類	2種 (0)	2種 (1)	4種 (1)
	淡水産魚類	21種 (3)	13種 (0)	34種 (3)
	甲殻類	2種 (0)		2種 (0)
	昆虫類	120種 (1)	15種 (1)	135種 (2)
	クモ類		4種 (3)	4種 (3)
	陸・淡水産貝類	16種 (0)		16種 (0)
	計	177種 (8)	54種 (6)	231種 (14)
植物	維管束植物	シダ植物	5種 (0)	5種 (0)
		種子植物	717種 (8)	717種 (8)
		小計	722種 (8)	722種 (8)
	コケ植物	1種 (0)		1種 (0)
	計	723種 (8)		723種 (8)
合計		900種 (16)	54種 (6)	954種 (22)

注1) ()内は特定外来生物の種数(内数) ※平成30年3月1日現在

5 山口県外来種リスト

(1) ほ乳類

① 定着種 (7種)

番号	目名	科名	種名	学名	由来		特定外 来生物	環境省等の 外来種区分	備考
					国外	国内			
1	齧歯目	ネズミ科	ドブネズミ	<i>Rattus norvegicus</i>	●			総合重点	人家周辺や市街地に生息
2	齧歯目	ネズミ科	クマネズミ	<i>Rattus rattus</i>	●			総合緊急	人家周辺や市街地に生息
3	齧歯目	ネズミ科	ハツカネズミ	<i>Mus musculus</i>	●			総合重点	人家周辺や市街地に生息
4	齧歯目	ヌートリア科	ヌートリア	<i>Myocastor coypus</i>	●		●	総合緊急	2009年以降、急速に分布を拡大
5	食肉目	イタチ科	チョウセンイタチ	<i>Mustela sibirica</i>	●			総合重点	
6	食肉目	アライグマ科	アライグマ	<i>Procyon lotor</i>	●		●	総合緊急	2009年以降、県中部を中心に分布を拡大
7	食肉目	ウシ科	ヤギ	<i>Capra hircus</i>	●			総合緊急	瀬戸内の島嶼部に生息

② 記録種 (一種)

該当なし

(2) 鳥類

① 定着種 (8種)

番号	目名	科名	種名	学名	由来		特定外 来生物	環境省等の 外来種区分	備考
					国外	国内			
1	キジ目	ナンベイウ ズラ科	コリンウズラ	<i>Colinus virginianus</i>	●			総合その他	猟犬訓練目的で放鳥し、野生下で繁殖
2	キジ目	キジ科	コジュケイ	<i>Bambusicola thoracica thoracica</i>	●				1955年頃から狩猟鳥として放鳥し、野生下で繁殖
3	キジ目	キジ科	亜種コウライ キジ	<i>Phasianus colchicus karpowi</i>	●			総合その他	飼育鳥の逸出
4	カモ目	カモ科	アヒル	<i>Anas platyrhynchos var. domesticus</i>	●				家畜の逸出
5	ハト目	ハト科	カワラバト (ドバト)	<i>Columba livia</i>	●				飼育鳥の逸出、日本では平安時代から記録あり
6	スズメ目	チメドリ科	ソウシチョウ	<i>Leiothrix lutea</i>	●		●	総合重点	飼育鳥の逸出
7	スズメ目	カエデチヨ ウ科	ベニスズメ	<i>Amandava amandava</i>	●				飼育鳥の逸出
8	スズメ目	カエデチヨ ウ科	キンバラ	<i>Lonchura atricapilla</i>	●				飼育鳥の逸出

② 記録種 (20種)

番号	目名	科名	種名	学名	由来		特定外 来生物	環境省等の 外来種区分	備考
					国外	国内			
1	キジ目	キジ科	ニワトリ	<i>Gallus gallus domesticus</i>	●				家畜の遺棄、県内記録1991年
2	カモ目	カモ科	シナガチョウ	<i>Anser cygnoides</i>	●				家禽の逸出、県内記録1998年
3	カモ目	カモ科	コクチョウ	<i>Cygnus atratus</i>	●				飼育鳥の逸出、県内記録1984年他
4	カモ目	カモ科	コブハクチョウ	<i>Cygnus olor</i>	●			総合その他	飼育鳥の逸出、県内記録1984年他
5	カモ目	カモ科	バリケン	<i>Cairina moschata</i>	●				家畜の逸出、県内記録2015年
6	ハト目	ハト科	シラコバト	<i>Streptopelia decaocto</i>	●				自然分布の可能性あり、県内記録1989年
7	ペリカン目	ペリカン科	モモイロペリ カン	<i>Pelecanus onocrotalus</i>	●				飼育鳥の逸出、県内記録1997年他
8	ペリカン目	ペリカン科	コシベニペリ カン	<i>Pelecanus rufescens</i>	●				飼育鳥の逸出、県内記録2005年
9	ツル目	ツル科	ホオジロカン ムリヅル	<i>Balearica regulorum</i>	●				飼育鳥の逸出、県内記録1978年他
10	ツル目	ツル科	オオヅル	<i>Grus antigone</i>	●				飼育鳥の逸出、県内記録1978年
11	インコ目	インコ科	セキセイイン コ	<i>Melopsittacus undulatus</i>	●				飼育鳥の逸出、県内記録1975年他
12	インコ目	インコ科	キエリボタン インコ	<i>Agapornis personata</i>	●				飼育鳥の逸出、県内記録2009年他
13	スズメ目	カラス科	カササギ	<i>Pica pica</i>	●				自然分布の可能性あり、県内記録1986年他
14	スズメ目	チメドリ科	ガビチョウ	<i>Garrulax canorus</i>	●		●	総合重点	飼育鳥の逸出、県内記録2013年他
15	スズメ目	ヒヨドリ科	シロガシラ	<i>Pycnonotus sinensis</i>	●			総合その他	自然分布の可能性あり、県内記録2003年他
16	スズメ目	ムクドリ科	ハッカチョウ	<i>Acridotheres cristatellus</i>	●				飼育鳥の逸出、県内記録1996年
17	スズメ目	ムクドリ科	インドハッカ	<i>Acridotheres tristis</i>	●				自然分布の可能性あり、県内記録2016年
18	スズメ目	ハタオリド リ科	オオキンラン チョウ	<i>Euplectes orix ssp.</i>	●				飼育鳥の逸出、県内記録1975年他
19	スズメ目	カエデチヨ ウ科	ギンバラ	<i>Lonchura malacca</i>	●				飼育鳥の逸出、県内記録1975年他

番号	目名	科名	種名	学名	由来		特定外来生物	環境省等の外来種区分	備考
					国外	国内			
20	スズメ目	カエデチヨウ科	ブンチヨウ	<i>Padda oryzivora</i>	●				飼育鳥の逸出、県内記録1976年他

(3) 両生類

① 定着種 (1種)

番号	目名	科名	種名	学名	由来		特定外 来生物	環境省等の 外来種区分	備考
					国外	国内			
1	無尾目	アカガエル科	ウシガエル	<i>Lithobates catesbeianus</i>	●		●	総合重点	県内平野部を中心に生息。1918年から食用・養殖用として国内に移入。

② 記録種 (-種)

該当なし

(4) は虫類

① 定着種 (2種)

番号	目名	科名	種名	学名	由来		特定外 来生物	環境省等の 外来種区分	備考
					国外	国内			
1	カメ目	イシガメ科	クサガメ	<i>Mauremys reevesii</i>	●				県内平野部を中心に生息。18世紀末に中国から国内に移入されたと考えられている。
2	カメ目	ヌマガメ科	ミシシッピアカミミガメ	<i>Trachemys scripta elegans</i>	●			総合緊急	県内平野部を中心に生息。1950年代からペットとして国内に移入。

② 記録種 (2種)

番号	目名	科名	種名	学名	由来		特定外 来生物	環境省等の 外来種区分	備考
					国外	国内			
1	カメ目	カミツキガメ科	カミツキガメ	<i>Chelydra serpentina</i>	●		●	総合緊急	2016年に岩国市で確認
2	有鱗目 トカゲ亜目	イグアナ科	グリーンイグアナ	<i>Iguana iguana</i>	●			総合重点	2016年に長門市で確認

(5) 淡水産魚類

① 定着種 (21種)

番号	目名	科名	種名	学名	由来		特定外来生物	環境省等の外来種区分	備考
					国外	国内			
1	コイ目	コイ科	ゲンゴロウブナ	<i>Carassius cuvieri</i>		●			遊漁対象として、関西から導入。
2	コイ目	コイ科	カネヒラ	<i>Acheilognathus rhombeus</i>		●			琵琶湖産アユ種苗の混入と推定。
3	コイ目	コイ科	イチモンジタナゴ	<i>Acheilognathus cyanostigma</i>		●			琵琶湖産アユ種苗の混入と推定。
4	コイ目	コイ科	カゼトゲタナゴ	<i>Rhodeus atremius atremius</i>		●			愛好家の私的放流由来
5	コイ目	コイ科	タイリクバラタナゴ	<i>Rhodeus ocellatus ocellatus</i>	●			総合重点	琵琶湖産アユ種苗の混入と推定。
6	コイ目	コイ科	ワタカ	<i>Ischikauia steenackeri</i>		●			島根県より養殖用として導入。
7	コイ目	コイ科	ハス	<i>Opsariichthys uncirostris uncirostris</i>		●		総合その他	琵琶湖産アユ種苗の混入と推定。
8	コイ目	コイ科	アブラハヤ	<i>Phoxinus lagowskii steindachneri</i>		●			琵琶湖産アユ種苗の混入と推定。
9	コイ目	コイ科	ビワヒガイ	<i>Sarcocheilichthys variegatus microculus</i>		●			琵琶湖産アユ種苗の混入と推定。
10	コイ目	コイ科	ホンモロコ	<i>Gnathopogon caeruleus</i>		●			琵琶湖産アユ種苗の混入と推定。
11	コイ目	コイ科	ゼゼラ	<i>Biwia zezera</i>		●			琵琶湖産アユ種苗の混入と推定。
12	コイ目	コイ科	スゴモロコ	<i>Squalidus chankaensis biwae</i>		●			琵琶湖産アユ種苗の混入と推定。
13	コイ目	ドジョウ科	オオガタスジシマドジョウ	<i>Cobitis magnostriata</i>		●			琵琶湖産アユ種苗の混入と推定。
14	サケ目	サケ科	ニジマス	<i>Oncorhynchus mykiss</i>	●			産業管理	遊漁愛好家による放流。
15	サケ目	サケ科	ブラウントラウト	<i>Salmo trutta</i>	●			産業管理	遊漁愛好家による放流。
16	サケ目	サケ科	ニッコウイワナ	<i>Salvelinus leucomaenis pluvius</i>		●			遊漁愛好家による放流。
17	トウゴロウイワシ目	トウゴロウイワシ科	ペヘレイ	<i>Odontesthes bonariensis</i>	●			総合その他	県主導による導入。
18	カダヤシ目	カダヤシ科	カダヤシ	<i>Gambusia affinis</i>	●		●	総合重点	蚊対策として導入。
19	スズキ目	サンフィッシュ科	ブルーギル	<i>Lepomis macrochirus</i>	●		●	総合緊急	遊漁愛好家による放流。
20	スズキ目	サンフィッシュ科	オオクチバス	<i>Micropterus salmoides</i>	●		●	総合緊急	遊漁愛好家による放流。
21	スズキ目	タイワンドジョウ科	カムルチー	<i>Channa argus</i>	●				遊漁愛好家による放流。

② 記録種 (13種)

番号	目名	科名	種名	学名	由来		特定外来生物	環境省等の外来種区分	備考
					国外	国内			
1	ガー目	ガー科	アリゲーターガー	<i>Atractosteus spatula</i>	●		※ H30.4~	定着予防	2006年に岩国市の公園で確認
2	ガー目	ガー科	スポッテドガー	<i>Lepisosteus oculatus</i>	●		※ H30.4~	定着予防	2012年に周南市の公園で確認
3	カラシン目	カラシン科	ピラニアナツテリー	<i>Pygocentrus nattereri</i>	●				榎野川で採集事例
4	ウナギ目	ウナギ科	ヨーロッパウナギ	<i>Anguilla anguilla</i>	●				放流用種苗として、持ち込まれた可能性が高い。

番号	目名	科名	種名	学名	由来		特定外 来生物	環境省等の 外来種区分	備考
					国外	国内			
5	コイ目	コイ科	キンブナ	<i>Carassius auratus</i> subsp.2		●			錦川水系で、採集事例。
6	コイ目	コイ科	シロヒレタビ ラ	<i>Acheilognathus tabira tabira</i>		●			小瀬川水系で採集事例。
7	コイ目	コイ科	ハクレン	<i>Hypophthalmichthys molitrix</i>	●			総合その他	ソウギョ稚魚に混入。
8	コイ目	コイ科	コクレン	<i>Aristichthys nobilis</i>	●			総合その他	ソウギョ稚魚に混入。
9	コイ目	コイ科	ソウギョ	<i>Ctenopharyngodon idellus</i>	●			総合その他	戦時中、大陸からの導入による。
10	コイ目	コイ科	デメモロコ	<i>Squalidus japonicus japonicus</i>		●			琵琶湖産アユ種苗の混入と推定。
11	サケ目	サケ科	カワマス	<i>Salvelinus fontinalis</i>	●			総合その他	北米から導入し、試験放流したが、定着せず。
12	カダヤシ目	カダヤシ科	グッピー	<i>Poecilia reticulata</i>	●			総合その他	温排水水路に一時的に定着。
13	スズキ目	タイワンド ジョウ科	タイワンド ジョウ	<i>Channa maculata</i>	●				小瀬川水系で採集事例。

(6) 甲殻類

① 定着種 (2種)

番号	目名	科名	種名	学名	由来		特定外 来生物	環境省等の 外来種区分	備考
					国外	国内			
1	等脚目	オカダンゴ ムシ科	オカダンゴム シ	<i>Armadillidium vulgare</i>	●				
2	十脚目	アメリカザ リガニ科	アメリカザリ ガニ	<i>Procambarus clarkii</i>	●			総合緊急	

② 記録種 (-種)

該当なし

(7) 昆虫類

① 定着種 (120種)

番号	目名	科名	種名	学名	由来		特定外 来生物	環境省等の 外来種区分	備考
					国外	国内			
1	シミ目	シミ科	セイヨウシミ	<i>Lepisma saccharina</i>	●				
2	バッタ目	コオロギ科	カマドコオロギ	<i>Grylloides sigillatus</i>	●				
3	バッタ目	マツムシ科	アオマツムシ	<i>Trujalia hibinonis</i>	●				
4	バッタ目	マツムシ科	カンタン	<i>Oecanthus longicauda</i>	●				
5	バッタ目	ヒバリモドキ科	シバズ	<i>Polionemobius mikado</i>	●				
6	ゴキブリ目	チャバネゴキブリ科	チャバネゴキブリ	<i>Blattella germanica</i>	●				
7	ゴキブリ目	ゴキブリ科	クロゴキブリ	<i>Periplaneta fuliginosa</i>	●				
8	ゴキブリ目	オオゴキブリ科	オオゴキブリ	<i>Panesthia angustipennis spadica</i>	●				
9	シロアリ目	ミゾガシラシロアリ科	イエシロアリ	<i>Coptotermes formosanus</i>	●				
10	シロアリ目	ミゾガシラシロアリ科	カンモンシロアリ	<i>Reticulitermes kanmonensis</i>	●				1911年に確認
11	シロアリ目	レイビシロアリ科	アメリカカンザイシロアリ	<i>Incisitermes minor</i>	●				1993年に確認
12	チャタテムシ目	コナチャタテ科	コナチャタテ	<i>Liposcelis divinatorius</i>	●				
13	アザミウマ目	アザミウマ科	ミナミキイロアザミウマ	<i>Thrips palmi</i>	●				
14	アザミウマ目	アザミウマ科	ネギアザミウマ	<i>Thrips tabaci</i>	●				
15	アザミウマ目	クダアザミウマ科	カキクダアザミウマ	<i>Ponticulothrips diospyrosi</i>	●				
16	アザミウマ目	アザミウマ科	ミカンキイロアザミウマ	<i>Frankliniella occidentalis</i>	●				1995年に下関市で初確認
17	アザミウマ目	アザミウマ科	グラジオラスアザミウマ	<i>Thrips simplex</i>	●				1987年に下関市で初確認
18	カメムシ目	アブラムシ科	アルファルフアアブラムシ	<i>Therioaphis trifolii</i>	●				
19	カメムシ目	アブラムシ科	ムギクビレアブラムシ	<i>Rhopalosiphum padi</i>	●				
20	カメムシ目	ワタフキカイガラムシ科	イセリアカイガラムシ (ワタフキカイガラムシ)	<i>Icerya purchasi</i>	●				
21	カメムシ目	マルカイガラムシ科	ナシマルカイガラムシ	<i>Aspidiotus perniciosus</i>	●				
22	カメムシ目	マルカイガラムシ科	ヤノネカイガラムシ	<i>Unaspis yanonensis</i>	●				
23	カメムシ目	グンバイムシ科	アワダチソウグンバイ	<i>Corythucha marmorata</i>	●				
24	カメムシ目	グンバイムシ科	ヘクソカズラグンバイ	<i>Dulinius conchatus</i>	●				
25	カメムシ目	サンガメ科	ヨコヅナサシガメ	<i>Agriosphodrus dohrni</i>	●				
26	カメムシ目	カメムシ科	キマダラカメムシ	<i>Erthesina fullo</i>	●				
27	カメムシ目	キジラミ科	チュウゴクナシキジラミ	<i>Cacopsylla chinensis</i>	●				2012年に下関市で初確認
28	カメムシ目	コナジラミ科	タバココナジラミ バイオタイプB (シルバーリーフコナジラミ)	<i>Bemisia tabaci</i> B-biotype	●				1991年に下関市、宇部市、山口市、防府市で初確認

番号	目名	科名	種名	学名	由来		特定外来生物	環境省等の外来種区分	備考
					国外	国内			
29	カメムシ目	コナジラミ科	タバココナジラミ バイオタイプQ	<i>Bemisia tabaci</i> Q-biotype	●				2006年に下関市で初確認
30	カメムシ目	コナジラミ科	オンシツコナジラミ	<i>Trialeurodes vaporariorum</i>	●				
31	カメムシ目	コナジラミ科	チャトゲコナジラミ	<i>Aleurocanthus camelliae</i>	●				2012年に岩国市、下関市、山口市で初確認
32	カメムシ目	コナジラミ科	ミカントゲコナジラミ	<i>Aleurocanthus spiniferus</i>	●				1982年に確認
33	カメムシ目	ネアブラムシ科	クリイガアブラムシ	<i>Moritzziella castaneivora</i>	●				県内全域
34	カメムシ目	カタカイガラムシ科	ルビーロウカイガラムシ	<i>Ceroplastes rubens</i>	●				1982年に確認 県内全域に分布
35	カメムシ目	コナカイガラムシ科	チガヤシロオカイガラムシ	<i>Antonina graninis</i>	●				県内全域
36	コウチュウ目	エンマムシ科	クロチビエンマムシ	<i>Carcinops pumilio</i>	●				
37	コウチュウ目	カツオブシムシ科	トビカツオブシムシ	<i>Dermestes (Dermestes) ater</i>	●				
38	コウチュウ目	カツオブシムシ科	フイリカツオブシムシ	<i>Dermestes (Dermestes) frischi</i>	●				
39	コウチュウ目	カツオブシムシ科	カドマルカツオブシムシ	<i>Dermestes (Dermestes) haemorrhoidalis</i>	●				
40	コウチュウ目	カツオブシムシ科	ヒメカツオブシムシ	<i>Attagenus (Attagenus) unicolor japonicus</i>	●				
41	コウチュウ目	カツオブシムシ科	シロオビマルカツオブシムシ	<i>Anthrenus (Anthrenus) nipponensis</i>	●				
42	コウチュウ目	カツオブシムシ科	ヒメマダラカツオブシムシ	<i>Trogoderma inclusum</i>	●				
43	コウチュウ目	ナガシクイムシ科	オオナガシクイ	<i>Heterobostrychus hamatipennis</i>	●				
44	コウチュウ目	ナガシクイムシ科	ヒラタキクイムシ	<i>Lyctus (Xylotrogus) brunneus</i>	●				
45	コウチュウ目	ナガシクイムシ科	ケプトヒラタキクイムシ	<i>Minthea rugicollis</i>	●				
46	コウチュウ目	ヒョウホンムシ科	ナガヒョウホンムシ	<i>Ptinus (Cyphoderes) japonicus</i>	●				
47	コウチュウ目	ヒョウホンムシ科	ヒメヒョウホンムシ	<i>Ptinus (Ptinus) latro</i>	●				
48	コウチュウ目	ヒョウホンムシ科	ケブカシバンムシ	<i>Nicobium castaneum</i>	●				
49	コウチュウ目	ヒョウホンムシ科	ジンサンシバンムシ	<i>Stegobium paniceum</i>	●				
50	コウチュウ目	ヒョウホンムシ科	タバコシバンムシ	<i>Lasioderma serricorne</i>	●				
51	コウチュウ目	カッコウムシ科	アカクビホシカムシ	<i>Necrobia ruficollis</i>	●				
52	コウチュウ目	カッコウムシ科	アカアシホシカムシ	<i>Necrobia rufipes</i>	●				
53	コウチュウ目	キスイムシ科	ウスバキスイ	<i>Cryptophagus cellaris</i>	●				
54	コウチュウ目	ホソヒラタムシ科	フタトゲホソヒラタムシ	<i>Silvanus bidentatus</i>	●				
55	コウチュウ目	ホソヒラタムシ科	ヒメフタトゲホソヒラタムシ	<i>Silvanus lewisi</i>	●				
56	コウチュウ目	チビヒラタムシ科	サビカクムネチビヒラタムシ	<i>Cryptolestes ferrugineus</i>	●				
57	コウチュウ目	チビヒラタムシ科	カクムネチビヒラタムシ	<i>Cryptolestes pusillus</i>	●				
58	コウチュウ目	ケシキスイ科	クリイロデオキスイ	<i>Carpophilus (Carpophilus) marginellus</i>	●				

番号	目名	科名	種名	学名	由来		特定外来生物	環境省等の外来種区分	備考
					国外	国内			
59	コウチュウ目	テントウムシ科	ミスジキイロテントウ	<i>Brumoides ohtai</i>	●				
60	コウチュウ目	コキノコムシ科	チャイロコキノコムシ	<i>Typhaea stercorea</i>	●				
61	コウチュウ目	ゴミムシダマシ科	コメノゴミムシダマシ	<i>Tenebrio obscurus</i>	●				
62	コウチュウ目	ゴミムシダマシ科	コクヌストモドキ	<i>Tribolium castaneum</i>	●				
63	コウチュウ目	ゴミムシダマシ科	ヒラタコクヌストモドキ	<i>Tribolium confusum</i>	●				
64	コウチュウ目	ゴミムシダマシ科	フタオビツヤゴミムシダマシ	<i>Alphitophagus bifasciatus</i>	●				
65	コウチュウ目	カミキリモドキ科	ツماغロカミキリモドキ	<i>Nacertes (Nacertes) melanura</i>	●				
66	コウチュウ目	アリモドキ科	アトグロホソアリモドキ	<i>Omonadus floralis</i>	●				
67	コウチュウ目	カミキリムシ科	テツイロヒメカミキリ	<i>Ceresium sinicum sinicum</i>	●				
68	コウチュウ目	カミキリムシ科	ハラアカコブカミキリ	<i>Moechotypa diphysis</i>	●				国内では対馬のみの分布であった。
69	コウチュウ目	カミキリムシ科	ラミーカミキリ	<i>Paraglenea fortunei</i>	●				中国からの移入と考えられている。
70	コウチュウ目	ハムシ科	アズキマメゾウムシ	<i>Callosobruchus chinensis</i>	●				
71	コウチュウ目	ハムシ科	エンドウゾウムシ	<i>Bruchus pisorum</i>	●				西アジア原産。国内への侵入は明治初期～中期に、アメリカからの輸入エンドウが媒体となったと考えられている。
72	コウチュウ目	ハムシ科	ソラマメゾウムシ	<i>Bruchus rufimanus</i>	●				地中海沿岸原産、アメリカまたはイギリスからの輸入ソラマメを介し、国内では1926年に熊本県で確認された。
73	コウチュウ目	ハムシ科	ブタクサハムシ	<i>Ophraella communis</i>	●				北アメリカ原産、国内では1996年に千葉県で確認された。
74	コウチュウ目	オサゾウムシ科	コクゾウムシ	<i>Sitophilus zeamais</i>	●				
75	コウチュウ目	オサゾウムシ科	シバオサゾウムシ	<i>Sphenophorus venatus vestitus</i>	●				北米原産、国内では1979年に沖縄県で確認された。
76	コウチュウ目	イボゾウムシ科	イネミズゾウムシ	<i>Lissorhoptrus (Lissorhoptrus) oryzophilus</i>	●				アメリカ原産、国内では1976年に愛知県で確認された。
77	コウチュウ目	ゾウムシ科	ヤサイゾウムシ	<i>Listroderes costirostris</i>	●				ブラジル原産
78	コウチュウ目	ゾウムシ科	オオタコゾウムシ	<i>Brachypera (Antidonus) zoilus</i>	●				
79	コウチュウ目	ゾウムシ科	アルファルファタコゾウムシ	<i>Hypera (Hypera) postica</i>	●				ヨーロッパ原産、国内では1982年に福岡県と沖縄県で確認された。
80	コウチュウ目	テントウムシ科	ベダリアテントウ (ベダリヤテントウ)	<i>Rodolia cardinalis</i>	●				イセリヤカイガラムシの天敵として1989年に導入
81	コウチュウ目	ハムシ科	イネクビボソハムシ (イネドロオイムシ)	<i>Oulema oryzae</i>	●				1989年に確認

番号	目名	科名	種名	学名	由来		特定外 来生物	環境省等の 外来種区分	備考
					国外	国内			
82	コウチュウ目	ハムシ科	ヨツモンカメ ノコハムシ	<i>Lacoptera quadrimaculata</i>		●			2014年に下関市で 初確認。主に沖縄 本島以南に分布
83	ハチ目	タマバチ科	クリタマバチ	<i>Dryocosmus kuriphilus</i>	●				
84	ハチ目	ツヤコバチ 科	ヤノネキイロ コバチ	<i>Aphytis yanonensis</i>	●				
85	ハチ目	ツヤコバチ 科	ヤノネツヤコ バチ	<i>Coccobius fulvus</i>	●				
86	ハチ目	ツヤコバチ 科	シルベストリ コバチ	<i>Encarsia smithi</i>	●				
87	ハチ目	トビコバチ 科	ルビーアカヤ ドリトビコバ チ	<i>Anicetus beneficus</i>	●				
88	ハチ目	カタピロコ バチ科	クローバータ ネコバチ	<i>Bruchophagus gibbus</i>	●				
89	ハチ目	セイボウ科	イラガセイボ ウ	<i>Praestochrysis shanghaiensis</i>	●				
90	ハチ目	アリ科	ケブカアメイ ロアリ	<i>Nylanderia amia</i>	●				熱帯アジア原産の 放浪種
91	ハチ目	アリ科	アルゼンチン アリ	<i>Linepithema humile</i>	●		●	総合重点	
92	ハチ目	アリ科	クロヒメアリ	<i>Monomorium chinense</i>	●				熱帯アジア原産
93	ハチ目	アリ科	オオシワアリ	<i>Tetramorium bicarinatum</i>	●				
94	ハチ目	アリ科	ハダカアリ	<i>Cardiocondyla sp</i>	●				岩国市での確認記 録
95	ハチ目	アリ科	インドオオズ アリ	<i>Pheidole indica</i>	●				
96	ハチ目	セナガアナ バチ科	サトセナガア ナバチ	<i>Ampulex dissector</i>	●				
97	ハチ目	アナバチ科	アメリカジガ バチ	<i>Sceliphron (Sceliphron) caementarium</i>	●				
98	ハチ目	アナバチ科	キゴシジガバ チ	<i>Sceliphron (Sceliphron) madraspatanum</i>	●				
99	ハチ目	ミツバチ科	セイヨウミツ バチ	<i>Apis mellifera</i>	●				
100	ハチ目	オナガコバ チ科	チュウゴクオ ナガコバチ	<i>Torymus sinensis</i>	●				クリタマバチの天 敵として19道府県 導入。県内では 1993年に分布を確 認。
101	ハエ目	チョウバエ 科	ホシチョウバ エ	<i>Tinearia alternata</i>	●				
102	ハエ目	ミズアブ科	アメリカミズ アブ	<i>Hermetia illucens</i>	●				
103	ハエ目	ヒメイエバ エ科	ヒメイエバエ	<i>Fannia canicularis</i>	●				
104	ハエ目	ハモグリバ エ科	トマトハモグ リバエ	<i>Liriomyza sativae</i>	●				1991年に旧阿東 町、旧むつみ村で 初確認
105	ハエ目	ハモグリバ エ科	マメハモグリ バエ	<i>Liriomyza trifolii</i>	●				1992年に下関市で 初確認
106	チョウ目 (ガ)	ヒロズコガ 科	イガ	<i>Tinea translucens</i>	●				衣類に発生し、普 通にみられる。
107	チョウ目 (ガ)	キバガ科	ジャガイモキ バガ	<i>Phthorimaea operculella</i>	●				北米原産。戦後、 持ち込まれたジャ ガイモと共に国内 侵入。
108	チョウ目 (ガ)	イラガ科	ヒロヘリアオ イラガ	<i>Parasa lepida</i>	●				中国或いはインド から樹木の移入に より国内侵入

番号	目名	科名	種名	学名	由来		特定外来生物	環境省等の外来種区分	備考
					国外	国内			
109	チョウ目 (ガ)	マダラガ科	タケノホソクロバ	<i>Artona martini</i>	●				
110	チョウ目 (ガ)	ハマキガ科	ナシヒメシンクイ	<i>Grapholita molesta</i>	●				中国南部原産。苗木の移入により国内侵入。
111	チョウ目 (ガ)	トリバガ科	キキョウトリバ	<i>Stenoptilia zophodactyla</i>	●				2012年に下関市で初確認
112	チョウ目 (ガ)	メイガ科	ツヅリガ	<i>Paralipsa gularis</i>	●				
113	チョウ目 (ガ)	メイガ科	コメシマメイガ	<i>Aglossa dimidiata</i>	●				
114	チョウ目 (ガ)	メイガ科	カシノシマメイガ	<i>Pyralis farinalis</i>	●				
115	チョウ目 (ガ)	メイガ科	ノシメマダラメイガ	<i>Plodia interpunctella</i>	●				県内全域に分布。家庭の穀物に発生する蛾の大半が本種。
116	チョウ目 (ガ)	メイガ科	スジマダラメイガ	<i>Cadra cautella</i>	●				
117	チョウ目 (ガ)	ツトガ科	シバツトガ	<i>Parapediasia teterella</i>	●				北米原産。芝の輸入と共に国内侵入。
118	チョウ目 (ガ)	ヤガ科	オオタバコガ	<i>Helicoverpa armigera</i>	●				在来種の可能性もある
119	チョウ目 (チョウ)	アゲハチョウ科	ホソオチョウ	<i>Sericanus montela</i>	●			総合重点	
120	チョウ目 (チョウ)	シロチョウ科	モンシロチョウ	<i>Pieris rapae</i>	●				県内全域に生息

② 記録種 (15種)

番号	目名	科名	種名	学名	由来		特定外来生物	環境省等の外来種区分	備考
					国外	国内			
1	カメムシ目	コナカイガラムシ科	クロテンコナカイガラムシ	<i>Phenacoccus solenopsis</i>	●				2016年に長門市で初確認
2	コウチュウ目	マルトゲムシ科	マルトゲムシ科の一種	<i>Microchaetes</i> sp.	●				2015年に岩国市で初確認
3	コウチュウ目	テントウムシ科	クモガタテントウ	<i>Psyllobora (Psyllobora) vigintimaculata</i>	●				北米原産、国内では1984年に東京港付近で確認された。
4	ハチ目	アリ科	アワテコヌカアリ	<i>Tapinoma melanocephalum</i>	●				2017年に萩市で確認
5	ハチ目	アリ科	フタイロヒメアリ	<i>Monomorium floricola</i>	●				インド、東南アジア原産
6	ハチ目	アリ科	アカカミアリ	<i>Solenopsis geminata</i>	●		●	総合緊急	2017年に防府市で確認
7	ハエ目	ハモグリバエ科	アシグロハモグリバエ	<i>Liriomyza huidobrensis</i>	●				2003年に防府市で初確認
8	チョウ目 (ガ)	ヒロズコガ科	コクガ	<i>Nemapogon granella</i>	●				
9	チョウ目 (ガ)	マルハキバガ科	コクマルハキバガ	<i>Martyringa xeraula</i>	●				
10	チョウ目 (ガ)	キバガ科	バクガ	<i>Sitotroga cerealella</i>	●				
11	チョウ目 (ガ)	メイガ科	スジコナマダラメイガ	<i>Ephestia kuehniella</i>	●				
12	チョウ目 (ガ)	ツトガ科	イッテンオオメイガ	<i>Scirpophaga incertulas</i>	●				
13	チョウ目 (ガ)	スズメガ科	キョウチクトウスズメ	<i>Daphnis nerii</i>	●				インド原産。県内は一時的な飛来とその成虫からの次世代発生記録のみ。(越冬確認なし)

番号	目名	科名	種名	学名	由来		特定外来生物	環境省等の外来種区分	備考
					国外	国内			
14	チョウ目 (ガ)	ヤガ科	ガマキンウワバ	<i>Autographa gamma</i>	●				
15	チョウ目 (ガ)	ヤガ科	ニセタマナヤガ	<i>Peridroma saucia</i>	●				北米原産。輸入貨物に紛れて国内侵入

(8) クモ類

① 定着種 (-種)

該当なし

② 記録種 (4種)

番号	目名	科名	種名	学名	由来		特定外 来生物	環境省等の 外来種区分	備考
					国外	国内			
1	クモ目	ユウレイグモ科	オダカユウレイグモ	<i>Crossopriza lyoni</i>	●				1991年に美祿市で1個体を確認
2	クモ目	ヒメグモ科	セアカゴケグモ	<i>Latrodectus hasselti</i>	●		●	総合緊急	2013年以降、岩国市、下関市、山口市、山陽小野田市、防府市で確認
3	クモ目	ヒメグモ科	ハイイロゴケグモ	<i>Latrodectus geometricus</i>	●		●	総合緊急	米海兵隊岩国航空基地で確認
4	クモ目	ヒメグモ科	クロゴケグモ	<i>Latrodectus mactans</i>	●		●	総合緊急	米海兵隊岩国航空基地とその周辺で確認

(9) 陸・淡水産貝類

① 定着種 (16種)

番号	目名	科名	種名	学名	由来		特定外来生物	環境省等の外来種区分	備考
					国外	国内			
1	新生腹足目	リンゴガイ科	スクミリンゴガイ	<i>Pomacea canaliculata</i>	●			総合重点	1985年以降、県中央部を中心に分布拡大
2	異鰓目	モノアラガイ科	コシダカヒメモノアラガイ	<i>Fossaria truncatula</i>	●				
3	異鰓目	モノアラガイ科	ハブタエモノアラガイ	<i>Pseudosuccinea columella</i>	●			総合その他	徐々に拡大
4	異鰓目	ヒラマキガイ科	インドヒラマキガイ	<i>Indoplanorbis exustus</i>	●				
5	異鰓目	ヒラマキガイ科	サカマキガイ	<i>Physa acuta</i>	●				各地の水路・湖沼で普通
6	真有肺目	オカクチキレガイ科	トクサオカチョウジガイ	<i>Allopeas javanicum</i>	●				市街地・里山など人の手の入った場所
7	真有肺目	オカクチキレガイ科	オオクビキレガイ	<i>Rumina decollata</i>	●			総合その他	1992年頃宇部市で発見、急激に県全域
8	真有肺目	イシノシタ科	ノハラノイシノシタ	<i>Helilcodiscus (Hebetoidiscus) singleyanus inermis</i>	●				
9	真有肺目	コウラナメクジ科	キイロナメクジ	<i>Limax flavus</i>	●				
10	真有肺目	コウラナメクジ科	チャコウラナメクジ	<i>Lehmannia valentiana</i>	●				人為的な手の入った場所で普通
11	真有肺目	ノナメクジ科	ノハラナメクジ	<i>Deroceras laeve</i>	●				
12	真有肺目	コハクガイ科	ヒメコハクガイ	<i>Hawaiiia minuscula</i>	●				
13	真有肺目	コハクガイ科	オオコハクガイ	<i>Zonitoides nitidus</i>	●				
14	真有肺目	コハクガイ科	コハクガイ	<i>Zonitoides arboreus</i>	●				市街地の植え込みや植木鉢などの下
15	真有肺目	オナジマイマイ科	オナジマイマイ	<i>Bradybaena similaris</i>	●				
16	ザルガイ目	シジミ科	タイワンシジミ	<i>Corbicula fluminea</i>	●			総合その他	20年ほど前から市街地の水路で繁殖

② 記録種 (-種)

該当なし

(10) 植物（維管束植物）

① 定着種（722種）

番号	目名	科名	種名	学名	由来		特定外来生物	環境省等の外来種区分	備考
					国外	国内			
シダ植物									
1	イワヒバ目	イワヒバ科	イヌカタヒバ	<i>Selaginella moellendorffii</i>	●				栽培逸出
2	イワヒバ目	イワヒバ科	コンテリクラマゴケ	<i>Selaginella uncinata</i>	●			総合その他	中国原産、栽培逸出
3	サンショウモ目	サンショウモ科	ニシノオオアカウキクサ	<i>Azolla filiculoides</i>	●				アゾラ農法
4	ウラボシ目	イノモトソウ科	ホウライシダ	<i>Adiantum capillus-veneris</i>	●				栽培逸出、暖地にやや稀
5	ウラボシ目	ヒメシダ科	イヌケホシダ	<i>Thelypteris dentata</i>	●				栽培逸出、暖地に稀
種子植物									
6	イチョウ目	イチョウ科	イチョウ	<i>Ginkgo biloba</i>	●				
7	スイレン目	ジュンサイ科	フサジュンサイ	<i>Cabomba caroliniana</i>	●			総合重点	北米原産、池や水路に稀
8	モクレン目	モクレン科	ユリノキ	<i>Liriodendron tulipifera</i>	●				北米東部原産、植栽依存種子で拡散
9	モクレン目	パンレイシ科	ポポー	<i>Asimina triloba</i>	●				北米原産、栽培逸出
10	クスノキ目	クスノキ科	ニッケイ	<i>Cinnamomum sieboldii</i>	●				中国原産、植栽依存種子で拡散
11	オモダカ目	サトイモ科	サトイモ	<i>Colocasia esculenta</i>	●				熱帯アジア原産、河川水湿地にやや普通
12	オモダカ目	サトイモ科	ヒメウキクサ	<i>Landoltia punctata</i>	●				熱帯アジア原産
13	オモダカ目	サトイモ科	イボウキクサ	<i>Lemna gibba</i>	●				
14	オモダカ目	サトイモ科	チリウキクサ	<i>Lemna valdiviana</i>	●				北米原産
15	オモダカ目	サトイモ科	ボタンウキクサ	<i>Pistia stratiotes</i>	●		●	総合緊急	世界の熱帯、野外は寒波で絶滅
16	オモダカ目	サトイモ科	ミジンコウキクサ	<i>Wolffia globosa</i>	●				欧州原産
17	オモダカ目	オモダカ科	クワイ	<i>Sagittaria trifolia</i>	●				中国原産、栽培逸出
18	オモダカ目	トチカガミ科	オオカナダモ	<i>Egeria densa</i>	●			総合重点	北米原産、河川溜池にごく普通
19	オモダカ目	トチカガミ科	コカナダモ	<i>Elodea nuttallii</i>	●			総合重点	北米原産
20	オモダカ目	トチカガミ科	アマゾントチカガミ	<i>Limnobium laevigatum</i>	●			総合重点	南米原産、アクアリウム植物として移入
21	ヤマノイモ目	ヤマノイモ科	ナガイモ	<i>Dioscorea polystachya</i>	●				中国原産、栽培逸出
22	ユリ目	ユリ科	バイモ	<i>Fritillaria thunbergii</i>	●				中国原産、栽培逸出
23	ユリ目	ユリ科	タカサゴユリ	<i>Lilium formosanum</i>	●				台湾原産、栽培逸出
24	クサスギカズラ目	アヤメ科	チリーアヤメ	<i>Alophia amoena</i>	●				南米原産、草地に逸出
25	クサスギカズラ目	アヤメ科	ヒメヒオウギズイセン	<i>Crocasmia × crocosmiflora</i>	●			総合その他	栽培逸出
26	クサスギカズラ目	アヤメ科	グラジオラス	<i>Gladiolus × colvillii</i>	●				栽培逸出、河川河原や海岸草地に稀
27	クサスギカズラ目	アヤメ科	シャガ	<i>Iris japonica</i>	●				丘陵地などの林縁に普通

番号	目名	科名	種名	学名	由来		特定外来生物	環境省等の 外来種区分	備考
					国外	国内			
28	クサスギカ ズラ目	アヤメ科	キシヨウブ	<i>Iris pseudacorus</i>	●			総合重点	ユーラシア原産、 溜池など水湿地に 普通
29	クサスギカ ズラ目	アヤメ科	オオニワゼキ シヨウ	<i>Sisyrinchium iridifolium</i> var. <i>laxum</i>	●				熱帯米原産、路傍 などの草地にごく 普通
30	クサスギカ ズラ目	アヤメ科	ニワゼキシヨ ウ	<i>Sisyrinchium rosulatum</i>	●				北米原産、路傍な どの草地にごく普 通
31	クサスギカ ズラ目	ススキノキ 科	ヤブカンゾウ	<i>Hemerocallis fulva</i> var. <i>kwanso</i>	●				丘陵地などの林縁 に普通
32	クサスギカ ズラ目	ススキノキ 科	マオラン	<i>Phormium tenax</i>	●				ニュージーランド 原産
33	クサスギカ ズラ目	ヒガンバナ 科	ラッキョウ	<i>Allium chinense</i>	●				中国原産、栽培逸 出
34	クサスギカ ズラ目	ヒガンバナ 科	ミツカドネギ	<i>Allium triquetrum</i>	●				地中海沿岸
35	クサスギカ ズラ目	ヒガンバナ 科	ハナニラ	<i>Ipheion uniflorum</i>	●			総合その他	南米原産、栽培逸 出
36	クサスギカ ズラ目	ヒガンバナ 科	スノーフレー ク	<i>Leucojum aestivum</i>	●				ユーラシア原産、 河川水湿地にやや 普通
37	クサスギカ ズラ目	ヒガンバナ 科	ヒガンバナ	<i>Lycoris radiata</i>	●				路傍草地畑地近く にごく普通
38	クサスギカ ズラ目	ヒガンバナ 科	ナツズイセン	<i>Lycoris × squamigera</i>	●				朝鮮、中国原産、 路傍にやや稀
39	クサスギカ ズラ目	ヒガンバナ 科	ラッパズイセ ン	<i>Narcissus pseudonarcissus</i>	●				欧州原産、栽培逸 出
40	クサスギカ ズラ目	ヒガンバナ 科	スイセン	<i>Narcissus tazetta</i> var. <i>chinensis</i>	●				地中海原産、栽培 逸出
41	クサスギカ ズラ目	ヒガンバナ 科	ハタケニラ	<i>Nothoscordum gracile</i>	●				北米原産
42	クサスギカ ズラ目	ヒガンバナ 科	タマスダレ	<i>Zephyranthes candida</i>	●				南米原産、水湿地 にやや稀
43	クサスギカ ズラ目	ヒガンバナ 科	サフランモド キ	<i>Zephyranthes carinata</i>	●				中米原産、路傍に やや普通
44	クサスギカ ズラ目	クサスギカ ズラ科	ハラン	<i>Aspidistra elatior</i>	●				中国原産、栽培逸 出
45	クサスギカ ズラ目	クサスギカ ズラ科	オリヅルラン	<i>Chlorophytum comosum</i>	●				南アフリカ、中部 アフリカ原産
46	クサスギカ ズラ目	クサスギカ ズラ科	ナンカイギボ ウシ	<i>Hosta tardiva</i>		●			栽培品の逸出、西 南日本産
47	クサスギカ ズラ目	クサスギカ ズラ科	オオアマナ	<i>Ornithogalum umbellatum</i>	●				欧州原産
48	クサスギカ ズラ目	クサスギカ ズラ科	アツバキミガ ヨラン	<i>Yucca gloriosa</i>	●			総合重点	メキシコ原産、栽 培逸出
49	ヤシ目	ヤシ科	シュロチク	<i>Rhapis humilis</i>	●				
50	ヤシ目	ヤシ科	シュロ	<i>Trachycarpus fortunei</i>	●				丘陵帯林内にほく 普通
51	ツユクサ目	ツユクサ科	ブライダル ベール	<i>Gibasis pellucida</i>	●				メキシコ原産
52	ツユクサ目	ツユクサ科	オオトキワツ ユクサ	<i>Tradescantia albiflora</i>	●				ブラジル原産、 2000年以降に確認
53	ツユクサ目	ツユクサ科	ノハカタカラ クサ	<i>Tradescantia flumiensis</i>	●			総合重点	熱帯米原産、暖地 に普通
54	ツユクサ目	ツユクサ科	ムラサキツユ クサ	<i>Tradescantia ohiensis</i>	●				北米原産
55	ツユクサ目	ツユクサ科	ムラサキオオ ツユクサ	<i>Tradescantia pallida</i>	●				メキシコ原産
56	ツユクサ目	ツユクサ科	ヌママラサキ ツユクサ	<i>Tradescantia paludosa</i>	●				北米原産
57	ツユクサ目	ツユクサ科	オオムラサキ ツユクサ	<i>Tradescantia virginiana</i>	●				

番号	目名	科名	種名	学名	由来		特定外 来生物	環境省等の 外来種区分	備考
					国外	国内			
58	ツユクサ目	ツユクサ科	ハカタカラクサ	<i>Tradescantia zebrina</i>	●				
59	ツユクサ目	ミズアオイ科	ホテアアオイ	<i>Eichhornia crassipes</i>	●			総合重点	熱帯米原産、暖地の溜池にやや普通
60	ショウガ目	ゴクラクチョウ科	ゴクラクチョウカ	<i>Strelitzia reginae</i>	●				南アフリカ原産
61	ショウガ目	バショウ科	バショウ	<i>Musa basjoo</i>	●				栽培逸出やや普通
62	ショウガ目	カンナ科	ダンドク	<i>Canna indica</i>	●				
63	ショウガ目	カンナ科	ハナカンナ	<i>Canna × generalis</i>	●				栽培逸出
64	ショウガ目	ショウガ科	ハナシユクシヤ	<i>Hedychium coronarium</i>	●			総合その他	東南アジア原産、栽培逸出
65	ショウガ目	ショウガ科	ミョウガ	<i>Zingiber mioga</i>	●				中国原産、栽培逸出
66	イネ目	イグサ科	クサイ	<i>Juncus tenuis</i>	●				米原産、路傍にごく普通
67	イネ目	イグサ科	オニコウガイゼキショウ	<i>Juncus validus</i>	●				北米原産、2000年以降に確認
68	イネ目	カヤツリグサ科	シュロガヤツリ	<i>Cyperus alternifolius</i> subsp. <i>Flabelliformis</i>	●			総合重点	アフリカ原産、栽培逸出やや普通
69	イネ目	カヤツリグサ科	メリケンガヤツリ	<i>Cyperus eragrostis</i>	●			総合重点	熱帯米原産、河川河原にごく普通
70	イネ目	カヤツリグサ科	カンエンガヤツリ	<i>Cyperus exaltatus</i> var. <i>iwasakii</i>	●				東アジア原産
71	イネ目	カヤツリグサ科	ヒメムツオレガヤツリ	<i>Cyperus ferruginescens</i>	●				北米原産
72	イネ目	カヤツリグサ科	シチトウイ	<i>Cyperus malaccensis</i> subsp. <i>Monophyllus</i>	●				東南アジア原産、溜池に稀
73	イネ目	カヤツリグサ科	キンガヤツリ	<i>Cyperus odoratus</i>	●				
74	イネ目	カヤツリグサ科	ヒメミクリガヤツリ	<i>Cyperus retrorsus</i>	●				草地に稀
75	イネ目	イネ科	ナンカイヌカボ	<i>Agrostis avenacea</i>	●				ハワイ・ポリネシア原産、草地にやや稀
76	イネ目	イネ科	コヌカグサ	<i>Agrostis gigantea</i>	●			産業管理	北半球北部原産、草地に普通
77	イネ目	イネ科	フユヌカボ	<i>Agrostis hyemalis</i>	●				北米原産、草地に稀
78	イネ目	イネ科	クロコヌカグサ	<i>Agrostis nigra</i>	●			産業管理	北半球温～亜熱帯、草地に普通
79	イネ目	イネ科	ハイコヌカグサ	<i>Agrostis stolonifera</i>	●				
80	イネ目	イネ科	バケヌカボ	<i>Agrostis × fouilladei</i>	●				
81	イネ目	イネ科	ヌカススキ	<i>Aira caryophyllea</i> subsp. <i>Multicaulis</i>	●				欧州原産、草地に普通
82	イネ目	イネ科	ハナヌカススキ	<i>Aira elegantissima</i>	●				欧州原産、草地に普通
83	イネ目	イネ科	ノハラスズメノテッポウ	<i>Alopecurus aequalis</i> var. <i>aequalis</i>	●				
84	イネ目	イネ科	ノズズメノテッポウ	<i>Alopecurus myosuroides</i>	●				
85	イネ目	イネ科	オオスズメノテッポウ	<i>Alopecurus pratensis</i>	●				ユーラシア原産
86	イネ目	イネ科	メリケンカルカヤ	<i>Andropogon virginicus</i>	●			総合その他	北米原産、草地にごく普通
87	イネ目	イネ科	ヒメハルガヤ	<i>Anthoxanthum aristatum</i>	●				欧州原産
88	イネ目	イネ科	ハルガヤ	<i>Anthoxanthum odoratum</i>	●			総合その他	ユーラシア原産、草地に普通

番号	目名	科名	種名	学名	由来		特定外 来生物	環境省等の 外来種区分	備考
					国外	国内			
89	イネ目	イネ科	オオカニツリ	<i>Arrhenatherum elatius</i>	●				欧州原産
90	イネ目	イネ科	チョロギガヤ	<i>Arrhenatherum elatius</i> var. <i>bulbosum</i>	●				欧州原産
91	イネ目	イネ科	カラスムギ	<i>Avena fatua</i>	●				欧州～西アジア原産、草地にごく普通
92	イネ目	イネ科	オートムギ	<i>Avena sativa</i>	●				欧州原産、栽培逸出
93	イネ目	イネ科	コバンソウ	<i>Briza maxima</i>	●				欧州原産、草地に普通
94	イネ目	イネ科	チュウコバンソウ	<i>Briza media</i>	●				
95	イネ目	イネ科	ヒメコバンソウ	<i>Briza minor</i>	●				欧州原産、草地にごく普通
96	イネ目	イネ科	ヤクナガイヌムギ	<i>Bromus carinatus</i>	●				北米原産、草地に稀
97	イネ目	イネ科	イヌムギ	<i>Bromus catharticus</i>	●				南米原産、草地にごく普通
98	イネ目	イネ科	ムクゲチャヒキ	<i>Bromus commutatus</i>	●				欧州～北アフリカ～西アジア原産
99	イネ目	イネ科	ヒゲナガスズメノチャヒキ	<i>Bromus diandrus</i>	●				欧州原産、草地に普通
100	イネ目	イネ科	コスズメノチャヒキ	<i>Bromus inermis</i>	●				ユーラシア原産
101	イネ目	イネ科	アレチノチャヒキ	<i>Bromus sterilis</i>	●				欧州原産
102	イネ目	イネ科	ウマノチャヒキ	<i>Bromus tectorum</i>	●				ユーラシア原産
103	イネ目	イネ科	シンクリノイガ	<i>Cenchrus echinatus</i>	●				熱帯米原産
104	イネ目	イネ科	マキバチカラシバ	<i>Pennisetum polystachion</i> subsp. <i>Setosum</i>	●				熱帯米原産
105	イネ目	イネ科	アフリカヒゲシバ	<i>Chloris gayana</i>	●				南アフリカ原産
106	イネ目	イネ科	オヒゲシバ	<i>Chloris virgata</i>	●				熱帯米原産
107	イネ目	イネ科	ジュズダマ	<i>Coix lacryma-jobi</i>	●				熱帯アジア原産、水湿地に普通
108	イネ目	イネ科	シロガネヨシ	<i>Cortaderia selloana</i>	●			総合その他	アルゼンチン原産、栽培逸出
109	イネ目	イネ科	カモガヤ	<i>Dactylis glomerata</i>	●			産業管理	欧州～西アジア原産
110	イネ目	イネ科	タツノツメガヤ	<i>Dactyloctenium aegyptium</i>	●				熱帯地域
111	イネ目	イネ科	カタボウシノケグサ	<i>Desmazeria rigida</i>	●				欧州原産
112	イネ目	イネ科	ニコゲヌカキビ	<i>Dichantherium acuminatum</i> subsp. <i>acuminatum</i>	●				北米原産
113	イネ目	イネ科	ホオキヌカキビ	<i>Dichantherium scoparium</i>	●				北米原産
114	イネ目	イネ科	コヒメビエ	<i>Echinochloa colona</i>	●				インド原産、2000年以降に確認
115	イネ目	イネ科	スズメガヤ	<i>Eragrostis cilianensis</i>	●				ユーラシア原産
116	イネ目	イネ科	シナダレスズメガヤ	<i>Eragrostis curvula</i>	●			総合重点	南アフリカ原産、道路法面等に密生
117	イネ目	イネ科	コスズメガヤ	<i>Eragrostis minor</i>	●				世界的広分布
118	イネ目	イネ科	オオニワホコリ	<i>Eragrostis pilosa</i>	●				
119	イネ目	イネ科	チャボウシノシッペイ	<i>Eremochloa ophiuroides</i>	●				東南アジア原産、カバープランツ植栽野生化

番号	目名	科名	種名	学名	由来		特定外 来生物	環境省等の 外来種区分	備考
					国外	国内			
120	イネ目	イネ科	シラゲガヤ	<i>Holcus lanatus</i>	●				ユーラシア原産、 牧草から逸出
121	イネ目	イネ科	ニセシラゲガヤ	<i>Holcus mollis</i>	●				
122	イネ目	イネ科	ムギクサ	<i>Hordeum murinum</i>	●				欧州原産
123	イネ目	イネ科	ミナトムギクサ	<i>Hordeum pusillum</i>	●				北米原産
124	イネ目	イネ科	ノレンガヤ	<i>Lamarckia aurea</i>	●				地中海原産、2000 年以降に確認
125	イネ目	イネ科	ハマガヤ	<i>Leptochloa fusca</i>	●				アジア、アフリ カ、豪州原産
126	イネ目	イネ科	ネズミムギ	<i>Lolium multiflorum</i>	●				欧州原産、草地に 普通
127	イネ目	イネ科	ネズミムギ× ボウムギ	<i>Lolium multiflorum</i> × <i>L. rigidum</i>	●				欧州原産
128	イネ目	イネ科	ホソムギ	<i>Lolium perenne</i>	●				欧州原産、草地に 普通
129	イネ目	イネ科	ボウムギ	<i>Lolium rigidum</i>	●				欧州原産、海岸草 地にやや稀
130	イネ目	イネ科	ドクムギ	<i>Lolium temulentum</i>	●				欧州原産
131	イネ目	イネ科	ネズミホソム ギ	<i>Lolium</i> × <i>hybridum</i>	●				欧州原産
132	イネ目	イネ科	ハナクサキビ	<i>Panicum capillare</i>	●				北米原産
133	イネ目	イネ科	オオクサキビ	<i>Panicum dichotomiflorum</i>	●			総合その他	北米原産、河原な どに普通
134	イネ目	イネ科	ギネアキビ	<i>Panicum maximum</i>	●			産業管理	アフリカ原産、栽 培逸出
135	イネ目	イネ科	スズメノナギ ナタ	<i>Parapholis incurva</i>	●				南欧州原産、海岸 草地にやや普通
136	イネ目	イネ科	シマスズメノ ヒエ	<i>Paspalum dilatatum</i>	●			総合その他	南米原産、草地に ごく普通
137	イネ目	イネ科	キシウズズ メノヒエ	<i>Paspalum distichum</i>	●			総合その他	北米原産、水湿地 に普通
138	イネ目	イネ科	チクゴスズメ ノヒエ	<i>Paspalum distichum</i> var. <i>indutum</i>	●			総合重点	北米原産、水湿地 に稀
139	イネ目	イネ科	アメリカスズ メノヒエ	<i>Paspalum notatum</i>	●			産業管理	南米原産、草地に ごく普通
140	イネ目	イネ科	タチスズメノ ヒエ	<i>Paspalum urvillei</i>	●			総合その他	南米原産、草地に ごく普通
141	イネ目	イネ科	カナリークサ ヨシ	<i>Phalaris canariensis</i>	●				地中海原産
142	イネ目	イネ科	オオアワガエ リ	<i>Phleum pratense</i>	●			産業管理	ユーラシア原産
143	イネ目	イネ科	ツルスズメノ カタビラ	<i>Poa annua</i> var. <i>reptans</i>	●				
144	イネ目	イネ科	ミスジナガハ グサ	<i>Poa humilis</i>	●				欧州原産
145	イネ目	イネ科	ナガハグサ	<i>Poa pratensis</i>	●				欧州原産、草地に 普通
146	イネ目	イネ科	オオスズメノ カタビラ	<i>Poa trivialis</i>	●				ユーラシア原産、 草地に普通
147	イネ目	イネ科	ミノボロモド キ	<i>Rostraria cristata</i>	●				欧州原産、草地に やや稀
148	イネ目	イネ科	ヨシススキ	<i>Saccharum arundinaceum</i>	●			総合重点	インド～東南アジ ア原産
149	イネ目	イネ科	オニウシノケ グサ	<i>Schedonorus arundinaceus</i>	●			産業管理	ユーラシア原産、 草地にごく普通
150	イネ目	イネ科	ヒロハノウシ ノケグサ	<i>Schedonorus pratensis</i>	●				ユーラシア原産
151	イネ目	イネ科	ライムギ	<i>Secale cereale</i>	●				

番号	目名	科名	種名	学名	由来		特定外来生物	環境省等の 外来種区分	備考
					国外	国内			
152	イネ目	イネ科	アワ	<i>Setaria italica</i>	●				
153	イネ目	イネ科	ザラツキエノ コログサ	<i>Setaria verticillata</i>	●				南欧州原産
154	イネ目	イネ科	イヌエノコロ	<i>Setaria × decipiens</i>	●				
155	イネ目	イネ科	ホウキモロコシ	<i>Sorghum bicolor</i>	●				アフリカ原産、栽培逸出
156	イネ目	イネ科	セイバンモロコシ	<i>Sorghum halepense</i>	●			総合その他	欧州地中海原産、草地にごく普通
157	イネ目	イネ科	ノギナシセイバンモロコシ	<i>Sorghum halepense</i> f. <i>muticum</i>	●				欧州地中海原産
158	イネ目	イネ科	イヌシバ	<i>Stenotaphrum secundatum</i>	●				熱帯米原産、2000年以降に確認
159	イネ目	イネ科	コムギ	<i>Triticum aestivum</i>	●				西アジア原産、栽培逸出
160	イネ目	イネ科	イヌナギナタガヤ	<i>Vulpia bromoides</i>	●				ユーラシア原産、草地に稀
161	イネ目	イネ科	ナギナタガヤ	<i>Vulpia myuros</i>	●			産業管理	ユーラシア原産、草地にごく普通
162	イネ目	イネ科	オオナギナタガヤ	<i>Vulpia myuros</i> var. <i>megalura</i>	●				北米原産
163	イネ目	イネ科	ムラサキナギナタガヤ	<i>Vulpia octoflora</i>	●				北米原産、草地に稀
164	イネ目	イネ科	コウライシバ	<i>Zoysia pacifica</i>		●			南九州以南産、栽培逸出
165	イネ目	イネ科タケ 亜科	ホウライチク	<i>Bambusa multiplex</i>	●				中国原産、栽培逸出
166	イネ目	イネ科タケ 亜科	ホウオウチク	<i>Bambusa multiplex</i>	●				中国原産、栽培逸出
167	イネ目	イネ科タケ 亜科	ダイサンチク	<i>Bambusa vulgaris</i> Schrad. ex Wendl.	●			定着予防	東南アジア原産
168	イネ目	イネ科タケ 亜科	シホウチク	<i>Chimonobambusa quadrangularis</i>	●				中国原産
169	イネ目	イネ科タケ 亜科	モウソウチク	<i>Phyllostachys heterocycla</i>	●				中国原産
170	イネ目	イネ科タケ 亜科	タイミンチク	<i>Pleioblastus gramineus</i>		●			琉球原産
171	イネ目	イネ科タケ 亜科	トウチク	<i>Sinobambusa tootsik</i>	●				中国原産、栽培の野生化
172	キンポウゲ 目	ケシ科	シラユキゲシ	<i>Eomecon chionantha</i>	●				中国東部原産、逸出やや稀
173	キンポウゲ 目	ケシ科	カラクサケマン	<i>Fumaria officinalis</i>	●				欧州原産、やや普通
174	キンポウゲ 目	ケシ科	セイヨウエンゴサク	<i>Fumaria muralis</i>	●				
175	キンポウゲ 目	ケシ科	ナガミヒナゲシ	<i>Papaver dubium</i>	●				欧州原産、草地にごく普通
176	キンポウゲ 目	ケシ科	アカバナナガミヒナゲシ	<i>Papaver dubium</i>	●				
177	キンポウゲ 目	ケシ科	トゲミゲシ	<i>Papaver hybridum</i>	●				欧州原産
178	キンポウゲ 目	ケシ科	ヒナゲシ	<i>Papaver rhoeas</i>	●				ユーラシア原産、栽培逸出
179	キンポウゲ 目	ケシ科	アツミゲシ	<i>Papaver somniferum</i> subsp. <i>Setigerum</i>	●			総合その他	北アフリカ原産、草地にやや稀
180	キンポウゲ 目	メギ科	ホソバヒイラギナンテン	<i>Berberis fortunei</i>	●				中国原産、栽培逸出
181	キンポウゲ 目	メギ科	ヒイラギナンテン	<i>Berberis japonica</i>	●			総合その他	中国原産、栽培逸出
182	キンポウゲ 目	キンポウゲ 科	シュウメイギク	<i>Anemone hupehensis</i> var. <i>japonica</i>	●				中国原産、栽培逸出
183	キンポウゲ 目	キンポウゲ 科	ヒエンソウ	<i>Delphinium ajacis</i>	●				欧州南部原産

番号	目名	科名	種名	学名	由来		特定外 来生物	環境省等の 外来種区分	備考
					国外	国内			
184	キンポウゲ 目	キンポウゲ 科	ハルザキクリ スマスローズ	<i>Helleborus orientalis</i>	●				欧州原産
185	キンポウゲ 目	キンポウゲ 科	クロタネソウ	<i>Nigella damascena</i>	●				地中海原産、栽培 逸出
186	キンポウゲ 目	キンポウゲ 科	トゲミノキツ ネノボタン	<i>Ranunculus muricatus</i>	●				ユーラシア原産
187	ユキノシタ 目	ベンケイソ ウ科	キンチョウ	<i>Bryophyllum tubiflorum</i>	●				マダガスカル原 産、栽培逸出
188	ユキノシタ 目	ベンケイソ ウ科	ヨーロッパタ イトゴメ	<i>Sedum acre</i>	●				欧州～小アジア原 産、2000年以降に 確認
189	ユキノシタ 目	ベンケイソ ウ科	ウスユキマン ネングサ	<i>Sedum hispanicum</i>	●				欧州原産
190	ユキノシタ 目	ベンケイソ ウ科	ヒメボシタイ トゴメ	<i>Sedum dasyphyllum</i>	●				
191	ユキノシタ 目	ベンケイソ ウ科	オノマンネン グサ	<i>Sedum lineare</i>	●				中国原産、栽培逸 出
192	ユキノシタ 目	ベンケイソ ウ科	メキシコマン ネングサ	<i>Sedum mexicanum</i>	●				メキシコ原産
193	ユキノシタ 目	ベンケイソ ウ科	ツルマンネン グサ	<i>Sedum sarmentosum</i>	●				中国原産、栽培逸 出
194	ユキノシタ 目	アリノトウ グサ科	オオフサモ	<i>Myriophyllum aquaticum</i>	●		●	総合緊急	南米原産、河川や 池にごく普通
195	ブドウ目	ブドウ科	アメリカツタ	<i>Parthenocissus quinquefolia</i>	●				北米原産
196	ブドウ目	ブドウ科	チュウゴクエ ビヅル	<i>Vitis ficifolia</i>	●				2000年以降に確認
197	マメ目	マメ科	フサアカシア	<i>Acacia dealbata</i>	●				豪州原産、栽培逸 出
198	マメ目	マメ科	ナガバアカシ ア	<i>Acacia longifolia</i>	●			総合重点	豪州原産、栽培逸 出
199	マメ目	マメ科	モリシマアカ シア	<i>Acacia mearnsii</i>	●			総合重点	豪州原産、栽培逸 出
200	マメ目	マメ科	イタチハギ	<i>Amorpha fruticosa</i>	●			総合重点	北米原産、栽培逸 出
201	マメ目	マメ科	ゲンゲ	<i>Astragalus sinicus</i>	●				中国原産、栽培逸 出
202	マメ目	マメ科	ハナハギ	<i>Campylotropis macrocarpa</i>	●				中国北部～朝鮮半 島原産
203	マメ目	マメ科	トンボハギ	<i>Campylotropis macrocarpa</i> var. <i>hupehensis</i>	●				中国北部～朝鮮半 島原産
204	マメ目	マメ科	サンヘンブ	<i>Crotalaria juncea</i>	●				インド原産、栽培 逸出
205	マメ目	マメ科	エニシダ	<i>Cytisus scoparius</i>	●			総合その他	欧州原産、栽培逸 出
206	マメ目	マメ科	アレチヌスビ トハギ	<i>Desmodium paniculatum</i>	●			総合その他	北米原産
207	マメ目	マメ科	キダチコマツ ナギ	<i>Indigofera bungeana</i> var. <i>bungeana</i>	●				法面に播種され普 通
208	マメ目	マメ科	ニワフジ	<i>Indigofera decora</i>		●			栽培と逸出、林縁 などにやや普通
209	マメ目	マメ科	オクシモハギ	<i>Lespedeza davidii</i>	●				中国原産、法面に 播種されやや普通
210	マメ目	マメ科	オオバメドハ ギ	<i>Lespedeza davurica</i>	●				東アジア原産
211	マメ目	マメ科	トウクサハギ	<i>Lespedeza floribunda</i>	●				中国原産、法面混 入あり
212	マメ目	マメ科	ツクシハギ	<i>Lespedeza homoloba</i>	●				
213	マメ目	マメ科	カラメドハギ	<i>Lespedeza inschanica</i>	●				
214	マメ目	マメ科	チョウセンキ ハギ	<i>Lespedeza maximowiczii</i>	●				法面混入あり

植物（維管束植物）

番号	目名	科名	種名	学名	由来		特定外来生物	環境省等の 外来種区分	備考
					国外	国内			
215	マメ目	マメ科	ビッチュウヤマハギ	<i>Lespedeza thunbergii</i> subsp. <i>thunbergii</i> f. <i>angustifolia</i>	●				栽植により増加
216	マメ目	マメ科	セイヨウミヤコグサ	<i>Lotus corniculatus</i> var. <i>corniculatus</i>	●				欧州原産
217	マメ目	マメ科	ワタリミヤコグサ	<i>Lotus glaber</i>	●				欧州原産
218	マメ目	マメ科	ネビキミヤコグサ	<i>Lotus pedunculatus</i>	●				欧州～アフリカ原産
219	マメ目	マメ科	モンツキウマゴヤシ	<i>Medicago arabica</i>	●				地中海原産
220	マメ目	マメ科	コメツブウマゴヤシ	<i>Medicago lupulina</i>	●				地中海原産
221	マメ目	マメ科	コウマゴヤシ	<i>Medicago minima</i>	●				欧州原産
222	マメ目	マメ科	ウマゴヤシ	<i>Medicago polymorpha</i>	●				地中海原産
223	マメ目	マメ科	ムラサキウマゴヤシ	<i>Medicago sativa</i>	●				地中海～小アジア原産
224	マメ目	マメ科	コシナガワハギ	<i>Melilotus indicus</i>	●				ユーラシア原産
225	マメ目	マメ科	シロバナシナガワハギ	<i>Melilotus officinalis</i> subsp. <i>albus</i>	●				ユーラシア原産
226	マメ目	マメ科	シナガワハギ	<i>Melilotus officinalis</i> subsp. <i>suaveolens</i>	●				東アジア原産
227	マメ目	マメ科	ムラサキナツフジ	<i>Millettia reticulata</i>	●				中国南部原産、栽培逸出
228	マメ目	マメ科	オジギソウ	<i>Mimosa pudica</i>	●				南米原産
229	マメ目	マメ科	ハリエンジュ	<i>Robinia pseudoacacia</i>	●			産業管理	北米原産
230	マメ目	マメ科	タマザキクサフジ	<i>Securigera varia</i>	●				欧州原産
231	マメ目	マメ科	エビスグサ	<i>Senna obtusifolia</i>	●				北米原産、栽培逸出やや普通
232	マメ目	マメ科	ハブソウ	<i>Senna occidentalis</i>	●				北米原産、栽培逸出
233	マメ目	マメ科	アメリカツノクサネム	<i>Sesbania exaltata</i>	●				
234	マメ目	マメ科	エンジュ	<i>Styphonolobium japonicum</i>	●				中国原産、栽培逸出
235	マメ目	マメ科	シャグマハギ	<i>Trifolium arvense</i>	●				欧州原産
236	マメ目	マメ科	クスダマツメクサ	<i>Trifolium campestre</i>	●				欧州原産
237	マメ目	マメ科	コメツブツメクサ	<i>Trifolium dubium</i>	●				ユーラシア原産、草地にごく普通
238	マメ目	マメ科	タチオランダゲンゲ	<i>Trifolium hybridum</i>	●				ユーラシア原産、草地荒地に稀
239	マメ目	マメ科	ベニバナツメクサ	<i>Trifolium incarnatum</i>	●				ユーラシア原産、逸出してやや普通
240	マメ目	マメ科	ムラサキツメクサ	<i>Trifolium pratense</i>	●				欧州原産、普通
241	マメ目	マメ科	シロツメクサ	<i>Trifolium repens</i>	●				欧州原産、やや普通
242	マメ目	マメ科	モモイロツメクサ	<i>Trifolium repens</i> f. <i>roseum</i>	●				欧州原産
243	マメ目	マメ科	シモンシロツメクサ	<i>Trifolium repens</i> f.	●				
244	マメ目	マメ科	ナヨクサフジ	<i>Vicia villosa</i> subsp. <i>varia</i>	●			産業管理	欧州原産、やや稀
245	バラ目	バラ科	モモ	<i>Amygdalus persica</i>	●				中国原産、栽培逸出
246	バラ目	バラ科	ピワ	<i>Eriobotrya japonica</i>	●			産業管理	

番号	目名	科名	種名	学名	由来		特定外 来生物	環境省等の 外来種区分	備考
					国外	国内			
247	バラ目	バラ科	オランダイチゴ	<i>Fragaria × ananassa</i>	●				
248	バラ目	バラ科	ニワウメ	<i>Cerasus japonica</i>	●				中国原産、栽培逸出
249	バラ目	バラ科	オオヘビイチゴ	<i>Potentilla recta</i>	●				
250	バラ目	バラ科	オキジムシロ	<i>Potentilla supina</i>	●				欧州原産、埋立地などにやや普通
251	バラ目	バラ科	カマツカ	<i>Pourthiaea villosa</i> var. <i>villosa</i>	●				
252	バラ目	バラ科	タチバナモドキ	<i>Pyracantha angustifolia</i>	●				中国原産、栽培逸出
253	バラ目	バラ科	トキワサンザシ	<i>Pyracantha coccinea</i>	●				西アジア原産、栽培逸出
254	バラ目	バラ科	ヒマラヤトキワサンザシ	<i>Pyracantha crenulata</i>	●				ヒマラヤ原産、栽培逸出
255	バラ目	バラ科	セイヨウヤブイチゴ	<i>Rubus armeniacus</i>	●				欧州原産、林縁にやや稀
256	バラ目	バラ科	チュウゴクミツバイチゴ	<i>Rubus</i> sp.	●				2000年以降に確認
257	バラ目	バラ科	シジミバナ	<i>Spiraea prunifolia</i>	●				中国原産、栽培逸出
258	バラ目	グミ科	トウグミ	<i>Elaeagnus multiflora</i> var. <i>hortensis</i>		●			栽培品の逸出、東海道周辺原産
259	バラ目	アサ科	アサ	<i>Cannabis sativa</i>	●				中央アジア原産、栽培逸出
260	バラ目	クワ科	マグワ	<i>Morus alba</i>	●				
261	バラ目	イラクサ科	ナンバンカラムシ	<i>Boehmeria nivea</i> var. <i>nivea</i>	●				東南アジア原産
262	バラ目	イラクサ科	ヒメイラクサ	<i>Urtica urens</i>	●				地中海原産
263	ブナ目	クルミ科	シナサワグルミ	<i>Pterocarya stenoptera</i>	●				栽培逸出
264	ブナ目	カバノキ科	オオバヤシャブシ	<i>Alnus sieboldiana</i>	●				
265	ウリ目	ウリ科	ハヤトウリ	<i>Sechium edule</i>	●				中央米原産、栽培逸出
266	ウリ目	ウリ科	アレチウリ	<i>Sicyos angulatus</i>	●		●	総合緊急	北米原産
267	ウリ目	シュウカイドウ科	シキザキベゴニア	<i>Begonia cucullata</i>	●				ブラジル原産、栽培の逸出
268	ニシキギ目	ニシキギ科	イワウメヅル	<i>Celastrus flagellaris</i>	●				
269	カタバミ目	カタバミ科	イモカタバミ	<i>Oxalis articulata</i>	●				南米原産
270	カタバミ目	カタバミ科	ハナカタバミ	<i>Oxalis bowieana</i>	●				南アフリカ原産、栽培逸出
271	カタバミ目	カタバミ科	ベニカタバミ	<i>Oxalis brasiliensis</i>	●				南アフリカ原産、2000年以降に確認
272	カタバミ目	カタバミ科	ムラサキカタバミ	<i>Oxalis debilis</i> subsp. <i>Corymbosa</i>	●				南米原産
273	カタバミ目	カタバミ科	オッタチカタバミ	<i>Oxalis dillenii</i>	●				北米原産、荒地路傍にごく普通
274	カタバミ目	カタバミ科	キダチハナカタバミ	<i>Oxalis hirta</i>	●				2000年以降に確認
275	カタバミ目	カタバミ科	オオキバナカタバミ	<i>Oxalis pes-caprae</i>	●			総合その他	南アフリカ原産、栽培逸出
276	カタバミ目	カタバミ科	フヨウカタバミ	<i>Oxalis purpurea</i>	●				栽培逸出
277	カタバミ目	カタバミ科	モンカタバミ	<i>Oxalis tetraphylla</i>	●				中米、メキシコ原産
278	キントラノオ目	トウダイグサ科	ショウジョウソウ	<i>Euphorbia cyathophora</i>	●				栽培逸出

番号	目名	科名	種名	学名	由来		特定外 来生物	環境省等の 外来種区分	備考
					国外	国内			
279	キントラノ オ目	トウダイグ サ科	シマニシキノ ウ	<i>Euphorbia hirta</i> var. <i>hirta</i>	●				熱帯米原産
280	キントラノ オ目	トウダイグ サ科	ホルトソウ	<i>Euphorbia lathyris</i>	●				地中海原産
281	キントラノ オ目	トウダイグ サ科	リュウキュウ タイゲキ	<i>Euphorbia liukuensis</i>		●			
282	キントラノ オ目	トウダイグ サ科	コニシキノ ウ	<i>Euphorbia maculata</i>	●				北米原産、ごく普通
283	キントラノ オ目	トウダイグ サ科	オオニシキノ ウ	<i>Euphorbia nutans</i>	●				北米原産、ごく普通
284	キントラノ オ目	トウダイグ サ科	ハイニシキノ ウ	<i>Euphorbia prostrata</i>	●				熱帯米原産
285	キントラノ オ目	トウダイグ サ科	アレチニシキノ ウ	<i>Euphorbia</i> sp. aff. <i>prostrata</i>	●				2000年以降に確認
286	キントラノ オ目	トウダイグ サ科	イリオモテニ シキノウ	<i>Euphorbia thymifolia</i>	●				熱帯米原産
287	キントラノ オ目	トウダイグ サ科	トウゴマ	<i>Ricinus communis</i>	●				アフリカ原産、栽培逸出
288	キントラノ オ目	トウダイグ サ科	ナンキンハゼ	<i>Triadica sebifera</i>	●			総合その他	中国原産、栽培逸出してやや稀
289	キントラノ オ目	トウダイグ サ科	アブラギリ	<i>Vernicia cordata</i>	●				中国原産、栽培逸出
290	キントラノ オ目	トウダイグ サ科	オオアブラギ リ	<i>Vernicia fordii</i>	●				中国原産、栽培逸出
291	キントラノ オ目	コミカンソ ウ科	ナガエコミカ ンソウ	<i>Phyllanthus tenellus</i>	●				インド洋初等原産、暖地の荒れ地に稀
292	キントラノ オ目	トケイソウ 科	トケイソウ	<i>Passiflora caerulea</i>	●				ペルー、ブラジル原産、栽培逸出して稀
293	キントラノ オ目	ヤナギ科	シダレヤナギ	<i>Salix babylonica</i>	●				中国原産、栽培逸出
294	キントラノ オ目	ヤナギ科	セイコヤナギ	<i>Salix babylonica</i> f. <i>seiko</i>	●				中国原産、栽培逸出
295	キントラノ オ目	ヤナギ科	イヌコリヤナ ギ	<i>Salix integra</i>	●				シベリア東部～中国東北・朝鮮～日本、溜池に稀
296	キントラノ オ目	ヤナギ科	コウライヤナ ギ	<i>Salix koreensis</i>	●				
297	キントラノ オ目	ヤナギ科	コリヤナギ	<i>Salix koriyanagi</i>	●				朝鮮原産、栽培逸出、溜池にやや普通
298	キントラノ オ目	ヤナギ科	ウンリュウヤ ナギ	<i>Salix matsudana</i>	●				中国原産、栽培逸出
299	キントラノ オ目	ヤナギ科	キヌヤナギ	<i>Salix schwerinii</i>	●				
300	キントラノ オ目	スマレ科	ニオイスマレ	<i>Viola odorata</i>	●				栽培逸出
301	キントラノ オ目	アマ科	キバナノマツ バニンジン	<i>Linum medium</i>	●				北米原産、やや普通
302	キントラノ オ目	アマ科	キバナアマ	<i>Reinwardtia indica</i>	●				中国南西～パキスタン原産
303	キントラノ オ目	オトギリソ ウ科	コボウズオト ギリ	<i>Hypericum androsaemum</i>	●				西アジア・欧州・アフリカ原産、植栽逸出
304	キントラノ オ目	オトギリソ ウ科	キンシバイ	<i>Hypericum patulum</i>	●				中国原産、栽培逸出、やや普通
305	キントラノ オ目	オトギリソ ウ科	コゴメバオト ギリ	<i>Hypericum perforatum</i> subsp. <i>Chinense</i>	●				欧州原産、やや稀
306	フウロソウ 目	フウロソウ 科	オランダフウ ロ	<i>Erodium cicutarium</i>	●				ユーラシア原産、稀
307	フウロソウ 目	フウロソウ 科	ジャコウオラ ンダフウロ	<i>Erodium moschatum</i>	●				地中海原産、稀

番号	目名	科名	種名	学名	由来		特定外来生物	環境省等の 外来種区分	備考
					国外	国内			
308	フウロソウ目	フウロソウ科	アメリカフウロ	<i>Geranium carolinianum</i>	●				北米原産、ごく普通
309	フウロソウ目	フウロソウ科	オトメフウロ	<i>Geranium dissectum</i>	●				欧州原産、稀
310	フウロソウ目	フウロソウ科	ヤサカフウロ	<i>Geranium purpureum</i>	●				欧州原産、やや稀
311	フウロソウ目	フウロソウ科	ヒメフウロ	<i>Geranium robertianum</i>	●				
312	フトモモ目	ミソハギ科	ナンゴクヒメミソハギ	<i>Ammannia auriculata</i>	●				北米原産、田にやや普通
313	フトモモ目	ミソハギ科	ホソバヒメミソハギ	<i>Ammannia coccinea</i>	●				米原産、田に普通
314	フトモモ目	ミソハギ科	メキシコハナヤナギ	<i>Cuphea hyssopifolia</i>	●				南北米原産
315	フトモモ目	ミソハギ科	キバナミソハギ	<i>Heimia myrtifolia</i>	●				ブラジル原産
316	フトモモ目	ミソハギ科	コメバミソハギ	<i>Lythrum hyssopifolia</i>	●				熱帯米原産、稀
317	フトモモ目	アカバナ科	ハクチョウソウ	<i>Gaura lindheimeri</i>	●				北米原産、栽培逸出、やや普通
318	フトモモ目	アカバナ科	ヒレタゴボウ	<i>Ludwigia decurrens</i>	●				熱帯米原産、河原に稀
319	フトモモ目	アカバナ科	メマツヨイグサ	<i>Oenothera biennis</i>	●				北米原産、荒れ地に普通
320	フトモモ目	アカバナ科	オオマツヨイグサ	<i>Oenothera glazioviana</i>	●				北米原産、荒れ地に稀
321	フトモモ目	アカバナ科	オオバナコマツヨイグサ	<i>Oenothera grandis</i>	●				北米原産
322	フトモモ目	アカバナ科	ミナトマツヨイグサ	<i>Oenothera indecora</i>	●				南米原産、草地にやや稀
323	フトモモ目	アカバナ科	オニマツヨイグサ	<i>Oenothera jamesii</i>	●				北米原産、荒れ地に稀
324	フトモモ目	アカバナ科	コマツヨイグサ	<i>Oenothera laciniata</i>	●			総合重点	北米原産、草地荒れ地に普通
325	フトモモ目	アカバナ科	アレチマツヨイグサ	<i>Oenothera parviflora</i>	●				北米原産
326	フトモモ目	アカバナ科	ヒナマツヨイグサ	<i>Oenothera perennis</i>	●				北米原産
327	フトモモ目	アカバナ科	ユウゲショウ	<i>Oenothera rosea</i>	●				米原産、路傍に普通
328	フトモモ目	アカバナ科	ヒルザキツキミノウ	<i>Oenothera speciosa</i>	●				北米原産、栽培逸出、やや稀
329	フトモモ目	アカバナ科	マツヨイグサ	<i>Oenothera stricta</i>	●				南米原産、草地に普通
330	ムクロジ目	ウルシ科	ウルシ	<i>Toxicodendron vernicifluum</i>	●				中国原産、栽培逸出
331	ムクロジ目	ムクロジ科	トウカエデ	<i>Acer buergerianum</i>	●				
332	ムクロジ目	ムクロジ科	フウセンカズラ	<i>Cardiospermum halicacabum</i>	●				熱帯米原産、栽培逸出、草地にやや稀
333	ムクロジ目	ミカン科	ユズ	<i>Citrus junos</i>	●				中国原産、栽培逸出
334	ムクロジ目	ミカン科	ゴシュユ	<i>Tetradium ruticarpum</i>	●				中国原産、栽培逸出
335	ムクロジ目	ニガキ科	ニワウルシ	<i>Ailanthus altissima</i>	●			総合重点	中国原産、栽培逸出
336	ムクロジ目	センダン科	チャンチン	<i>Toona sinensis</i>	●				中国原産
337	アオイ目	アオイ科	トロロアオイ	<i>Abelmoschus manihot</i>	●				中国原産、栽培逸出
338	アオイ目	アオイ科	ウキツリボク	<i>Abutilon megapotamicum</i>	●				ブラジル原産

番号	目名	科名	種名	学名	由来		特定外 来生物	環境省等の 外来種区分	備考
					国外	国内			
339	アオイ目	アオイ科	イチビ	<i>Abutilon theophrasti</i>	●				インド原産、栽培逸出
340	アオイ目	アオイ科	タチアオイ	<i>Althaea rosea</i>	●				栽培逸出
341	アオイ目	アオイ科	ニシキアオイ	<i>Anoda cristata</i>	●				メキシコ原産、2000年以降に確認
342	アオイ目	アオイ科	フヨウ	<i>Hibiscus mutabilis</i>	●			総合その他	中国原産、栽培逸出
343	アオイ目	アオイ科	ムクゲ	<i>Hibiscus syriacus</i>	●				中国原産、栽培逸出
344	アオイ目	アオイ科	ギンセンカ	<i>Hibiscus trionum</i>	●				地中海～中央アフリカ原産
345	アオイ目	アオイ科	ジャコウアオイ	<i>Malva moschata</i>	●				欧州原産
346	アオイ目	アオイ科	ゼニバアオイ	<i>Malva neglecta</i>	●				ユーラシア原産
347	アオイ目	アオイ科	ウサギアオイ	<i>Malva parviflora</i>	●				欧州原産
348	アオイ目	アオイ科	ナガエアオイ	<i>Malva pusilla</i>	●				欧州原産
349	アオイ目	アオイ科	ハイアオイ	<i>Malva rotundifolia</i>	●				欧州原産
350	アオイ目	アオイ科	ゼニアオイ	<i>Malva sylvestris</i> var. <i>mauritanica</i>	●				モリシャス原産、栽培逸出
351	アオイ目	アオイ科	フユアオイ	<i>Malva verticillata</i>	●				
352	アオイ目	アオイ科	オカノリ	<i>Malva verticillata</i> var. <i>crispa</i>	●				東アジア原産
353	アオイ目	アオイ科	エノキアオイ	<i>Malvastrum coromandelianum</i>	●				熱帯米原産
354	アオイ目	アオイ科	キクノハアオイ	<i>Modiola caroliniana</i>	●				熱帯米原産、2000年以降に確認
355	アオイ目	アオイ科	ヤノネボンテンカ	<i>Pavonia hastata</i>	●				南米原産、栽培逸出、2000年以降に確認
356	アオイ目	アオイ科	キンゴジカ	<i>Sida rhombifolia</i>	●				熱帯地域、やや稀
357	アオイ目	アオイ科	アメリカキンゴジカ	<i>Sida spinosa</i>	●				熱帯地域、やや稀
358	アオイ目	アオイ科	ボダイジュ	<i>Tilia miqueliana</i>	●				中国原産、栽培逸出
359	アオイ目	ジンチョウゲ科	ミツマタ	<i>Edgeworthia chrysantha</i>	●				中国原産、栽培逸出
360	アブラナ目	ノウゼンハレン科	ノウゼンハレン	<i>Tropaeolum majus</i>	●				南米原産
361	アブラナ目	アブラナ科	シロイヌナズナ	<i>Arabidopsis thaliana</i>	●				市街地にやや普通
362	アブラナ目	アブラナ科	ハルザキヤマガラシ	<i>Barbarea vulgaris</i>	●			総合その他	ユーラシア原産
363	アブラナ目	アブラナ科	シロガラシ	<i>Brassica hirta</i>	●				地中海原産
364	アブラナ目	アブラナ科	カラシナ	<i>Brassica juncea</i>	●			総合その他	中部アジア原産
365	アブラナ目	アブラナ科	セイヨウアブラナ	<i>Brassica napus</i>	●				欧州原産
366	アブラナ目	アブラナ科	クロガラシ	<i>Brassica nigra</i>	●				欧州～西アジア原産
367	アブラナ目	アブラナ科	カンランサイ	<i>Brassica oleracea</i> var. <i>acephala</i>	●				欧州原産、栽培逸出
368	アブラナ目	アブラナ科	ハリゲナタネ	<i>Brassica tornefortii</i>	●				地中海原産
369	アブラナ目	アブラナ科	ナガミノアマナズナ	<i>Camelina sativa</i>	●				

番号	目名	科名	種名	学名	由来		特定外 来生物	環境省等の 外来種区分	備考
					国外	国内			
370	アブラナ目	アブラナ科	ルベラナズナ	<i>Capsella rubella</i>	●				欧州原産
371	アブラナ目	アブラナ科	ミチタネツケ バナ	<i>Cardamine hirsuta</i>	●				北半球広分布
372	アブラナ目	アブラナ科	コタネツケバ ナ	<i>Cardamine parviflora</i>	●				欧州原産
373	アブラナ目	アブラナ科	クジラグサ	<i>Descurainia sophia</i>	●				欧州～アジア原産
374	アブラナ目	アブラナ科	ヒメナズナ	<i>Draba Verna</i>	●				欧州原産
375	アブラナ目	アブラナ科	オハツキガラ シ	<i>Erucastrum gallicum</i>	●				欧州原産
376	アブラナ目	アブラナ科	エゾスズシロ	<i>Erysimum cheiranthoides</i>	●				北半球温帯域
377	アブラナ目	アブラナ科	ウロコナズナ	<i>Lepidium campestre</i>	●				欧州原産
378	アブラナ目	アブラナ科	カラクサナズ ナ	<i>Lepidium didymum</i>	●				欧州原産
379	アブラナ目	アブラナ科	コシミノナズ ナ	<i>Lepidium perfoliatum</i>	●				中央アジア～シベ リア西部原産
380	アブラナ目	アブラナ科	マメグンバイ ナズナ	<i>Lepidium virginicum</i>	●				北米原産、ごく普 通
381	アブラナ目	アブラナ科	ゴウダソウ	<i>Lunaria annua</i>	●				栽培逸出、稀
382	アブラナ目	アブラナ科	コバノオラン ダガラシ	<i>Nasturtium microphyllum</i>	●				
383	アブラナ目	アブラナ科	オランダガラ シ	<i>Nasturtium officinale</i>	●			総合重点	ユーラシア原産
384	アブラナ目	アブラナ科	ムラサキオラ ンダガラシ	<i>Nasturtium × sterile</i>	●				ユーラシア原産
385	アブラナ目	アブラナ科	ショカツサイ	<i>Orychophragmus violaceus</i>	●				中国北部原産、栽 培逸出
386	アブラナ目	アブラナ科	ダイコン	<i>Raphanus sativus</i> var. <i>hortensis</i>	●				欧州原産、栽培逸 出
387	アブラナ目	アブラナ科	ハマダイコン	<i>Raphanus sativus</i> var. <i>hortensis</i> f. <i>raphanistroides</i>	●				欧州原産、栽培逸 出
388	アブラナ目	アブラナ科	ミチバタガラ シ	<i>Rorippa dubia</i>	●				
389	アブラナ目	アブラナ科	ノハラガラシ	<i>Sinapis arvensis</i>	●				地中海原産
390	アブラナ目	アブラナ科	ダイコンモド キ	<i>Sinapis incana</i>	●				地中海原産
391	アブラナ目	アブラナ科	ハタザオガラ シ	<i>Sisymbrium altissimum</i>	●				ユーラシア原産
392	アブラナ目	アブラナ科	カキネガラシ	<i>Sisymbrium officinale</i>	●				ユーラシア原産
393	アブラナ目	アブラナ科	ハマカキネガ ラシ	<i>Sisymbrium officinale</i> var. <i>leiocarpum</i>	●				
394	アブラナ目	アブラナ科	イヌカキネガ ラシ	<i>Sisymbrium orientale</i>	●				ユーラシア原産
395	アブラナ目	アブラナ科	グンバイナズ ナ	<i>Thlaspi arvense</i>	●				欧州原産
396	ナデシコ目	タデ科	シャクチリソ バ	<i>Fagopyrum dibotrys</i>	●			総合その他	北インド～中国原 産、河原や草地に やや普通
397	ナデシコ目	タデ科	ソバ	<i>Fagopyrum esculentum</i>	●				中央アジア原産、 栽培逸出
398	ナデシコ目	タデ科	ダツタンソバ	<i>Fagopyrum tataricum</i>	●				東アジア原産
399	ナデシコ目	タデ科	ソバカズラ	<i>Fallopia convolvulus</i>	●				ユーラシア原産
400	ナデシコ目	タデ科	オオツルイタ ドリ	<i>Fallopia dentatoalata</i>	●				中国北部原産

番号	目名	科名	種名	学名	由来		特定外 来生物	環境省等の 外来種区分	備考
					国外	国内			
401	ナデシコ目	タデ科	ツルタデ	<i>Fallopia dumetorum</i>	●				欧州～西アジア原産
402	ナデシコ目	タデ科	ハチジョウイ タドリ	<i>Fallopia japonica</i> var. <i>hachidyoensis</i>		●			
403	ナデシコ目	タデ科	ツルドクダミ	<i>Fallopia multiflora</i>	●			総合その他	中国原産、栽培逸出、 荒地にやや普通
404	ナデシコ目	タデ科	オオイタドリ	<i>Fallopia sachalinensis</i>		●			
405	ナデシコ目	タデ科	ヒメツルソバ	<i>Persicaria capitata</i>	●			総合その他	南アフリカ原産
406	ナデシコ目	タデ科	シベリアイワ タデ	<i>Persicaria divaricatum</i>	●				中国北部～朝鮮原産
407	ナデシコ目	タデ科	オオケタデ	<i>Persicaria orientalis</i>	●				アジア南部原産、 栽培逸出
408	ナデシコ目	タデ科	オオベニタデ	<i>Persicaria orientalis</i> var. <i>orientalis</i>	●				東南アジア原産
409	ナデシコ目	タデ科	アメリカサナ エタデ	<i>Persicaria pennsylvanica</i> var. <i>laevigata</i>	●				
410	ナデシコ目	タデ科	ハイミチヤナ ギ	<i>Polygonum arenastrum</i>	●				ユーラシア原産
411	ナデシコ目	タデ科	ヒメスイバ	<i>Rumex acetosella</i> subsp. <i>pyrenaicus</i>	●			総合その他	欧州原産
412	ナデシコ目	タデ科	カギミギシギ シ	<i>Rumex brownii</i>	●				大洋州原産
413	ナデシコ目	タデ科	アレチギシギ シ	<i>Rumex conglomeratus</i>	●				ユーラシア原産
414	ナデシコ目	タデ科	ナガバギシギ シ	<i>Rumex crispus</i>	●			総合その他	ユーラシア原産
415	ナデシコ目	タデ科	エゾノギシギ シ	<i>Rumex obtusifolius</i>	●			総合その他	ユーラシア原産
416	ナデシコ目	ナデシコ科	オランダミミ ナグサ	<i>Cerastium glomeratum</i>	●				欧州原産
417	ナデシコ目	ナデシコ科	ノハラナデシ コ	<i>Dianthus armeria</i>	●				欧州原産
418	ナデシコ目	ナデシコ科	カギザケハコ ベ	<i>Holosteum umbellatum</i>	●				欧州原産
419	ナデシコ目	ナデシコ科	イヌコモチナ デシコ	<i>Petrorhagia dubia</i>	●				欧州原産、道路緑 地帯や法面に密生
420	ナデシコ目	ナデシコ科	ミチバタナデ シコ	<i>Petrorhagia nanteulii</i>	●				欧州原産
421	ナデシコ目	ナデシコ科	コモチナデシ コ	<i>Petrorhagia prolifera</i>	●				欧州原産
422	ナデシコ目	ナデシコ科	ヨツバハコベ	<i>Polycarpon tetraphyllum</i>	●				世界的広分布
423	ナデシコ目	ナデシコ科	イトツメクサ	<i>Sagina apetala</i>	●				インド～欧州、北 アフリカ原産
424	ナデシコ目	ナデシコ科	サボンソウ	<i>Saponaria officinalis</i>	●				欧州原産
425	ナデシコ目	ナデシコ科	シバツメクサ	<i>Scleranthus annuus</i>	●				
426	ナデシコ目	ナデシコ科	ムシトリナデ シコ	<i>Silene armeria</i>	●			総合その他	欧州原産、砂浜や 河原などに普通
427	ナデシコ目	ナデシコ科	スイセンノウ	<i>Silene coronaria</i>	●				南欧州原産
428	ナデシコ目	ナデシコ科	マンテマモド キ	<i>Silene dichotoma</i>	●				欧州原産
429	ナデシコ目	ナデシコ科	トウピランジ	<i>Silene fortunei</i>	●				中国原産、法面移 入
430	ナデシコ目	ナデシコ科	シロバナマン テマ	<i>Silene gallica</i> var. <i>gallica</i>	●				欧州原産
431	ナデシコ目	ナデシコ科	イタリーマン テマ	<i>Silene gallica</i> var. <i>giraldii</i>	●				欧州原産、やや稀

番号	目名	科名	種名	学名	由来		特定外 来生物	環境省等の 外来種区分	備考
					国外	国内			
432	ナデシコ目	ナデシコ科	マンテマ	<i>Silene gallica</i> var. <i>quinquevulnera</i>	●			総合その他	欧州原産
433	ナデシコ目	ナデシコ科	マツヨイセン ノウ	<i>Silene latifolia</i> subsp. <i>alba</i>	●				ユーラシア原産
434	ナデシコ目	ナデシコ科	ツキミセンノ ウ	<i>Silene noctiflora</i>	●				欧州原産
435	ナデシコ目	ナデシコ科	ツキミマンテ マ	<i>Silene nocturna</i>	●				地中海原産
436	ナデシコ目	ナデシコ科	サクラマンテ マ	<i>Silene pendula</i>	●				地中海原産、栽培 逸出
437	ナデシコ目	ナデシコ科	ノハラツメク サ	<i>Spergula arvensis</i> var. <i>arvensis</i>	●				欧州原産
438	ナデシコ目	ナデシコ科	オオツメクサ	<i>Spergula arvensis</i> var. <i>sativa</i>	●				
439	ナデシコ目	ナデシコ科	ウシオハナツ メクサ	<i>Spergularia bocconii</i>	●				欧州原産
440	ナデシコ目	ナデシコ科	ウシオツメク サ	<i>Spergularia marina</i>	●				
441	ナデシコ目	ナデシコ科	コハコベ	<i>Stellaria media</i>	●				
442	ナデシコ目	ナデシコ科	イヌコハコベ	<i>Stellaria pallida</i>	●				欧州原産
443	ナデシコ目	ナデシコ科	ドウカンソウ	<i>Vaccaria hispanica</i>	●				ユーラシア原産
444	ナデシコ目	ヒユ科	ホソバツルノ ゲイトウ	<i>Alternanthera denticulata</i>	●				熱帯米原産
445	ナデシコ目	ヒユ科	ナガエツルノ ゲイトウ	<i>Alternanthera philoxeroides</i>	●		●	総合緊急	南米原産で世界の 熱帯亜熱帯に広分布
446	ナデシコ目	ヒユ科	ツルノゲイト ウ	<i>Alternanthera sessilis</i>	●				南米原産
447	ナデシコ目	ヒユ科	イヌビユ	<i>Amaranthus blitum</i>	●				熱帯米原産
448	ナデシコ目	ヒユ科	ヒモゲイトウ	<i>Amaranthus caudatus</i>	●				熱帯アジア～中央 アジア
449	ナデシコ目	ヒユ科	スギモリゲイ トウ	<i>Amaranthus cruentus</i>	●				熱帯米原産
450	ナデシコ目	ヒユ科	ハイビユ	<i>Amaranthus deflexus</i>	●				熱帯米原産
451	ナデシコ目	ヒユ科	ホソアオゲイ トウ	<i>Amaranthus hybridus</i>	●				欧州原産
452	ナデシコ目	ヒユ科	オオホナガア オゲイトウ	<i>Amaranthus palmeri</i>	●				北米原産
453	ナデシコ目	ヒユ科	ホナガアオゲ イトウ	<i>Amaranthus powellii</i>	●				
454	ナデシコ目	ヒユ科	アオゲイトウ	<i>Amaranthus retroflexus</i>	●				熱帯米原産
455	ナデシコ目	ヒユ科	ハリビユ	<i>Amaranthus spinosus</i>	●				熱帯米原産
456	ナデシコ目	ヒユ科	ホナガイヌビ ユ	<i>Amaranthus viridis</i>	●				熱帯米原産
457	ナデシコ目	ヒユ科	ホコガタアカ ザ	<i>Atriplex prostrata</i>	●			総合その他	ユーラシア原産
458	ナデシコ目	ヒユ科	ホウキギ	<i>Bassia scoparia</i> var. <i>scoparia</i>	●				ユーラシア原産、 栽培逸出
459	ナデシコ目	ヒユ科	ノゲイトウ	<i>Celosia argentea</i>	●				河原や草地などに やや普通
460	ナデシコ目	ヒユ科	ケイトウ	<i>Celosia cristata</i>	●				河原や草地などに やや普通
461	ナデシコ目	ヒユ科	アカザ	<i>Chenopodium album</i> var. <i>centrorubrum</i>	●				
462	ナデシコ目	ヒユ科	コアカザ	<i>Chenopodium ficifolium</i>	●				ユーラシア原産、 畑地などにやや稀

番号	目名	科名	種名	学名	由来		特定外 来生物	環境省等の 外来種区分	備考
					国外	国内			
463	ナデシコ目	ヒユ科	ウラジロアカザ	<i>Chenopodium glaucum</i>	●				ユーラシア原産
464	ナデシコ目	ヒユ科	ミナトアカザ	<i>Chenopodium murale</i>	●				欧州～アフリカ原産
465	ナデシコ目	ヒユ科	アリタソウ	<i>Dysphania ambrosioides</i>	●				熱帯米原産
466	ナデシコ目	ヒユ科	アメリカアリタソウ	<i>Dysphania anthelmintica</i>	●				熱帯米原産
467	ナデシコ目	ヒユ科	ゴウシュウアリタソウ	<i>Dysphania pumilio</i>	●				豪州原産
468	ナデシコ目	ヒユ科	センニチコウ	<i>Gomphrena globosa</i>	●				熱帯米原産、栽培逸出
469	ナデシコ目	ヒユ科	キバナセンニチコウ	<i>Gomphrena haageana</i>	●				北米～メキシコ原産
470	ナデシコ目	ハマミズナ科	マツバギク	<i>Lampranthus spectabilis</i>	●				南アフリカ原産
471	ナデシコ目	ヤマゴボウ科	ヤマゴボウ	<i>Phytolacca acinosa</i>	●				中国原産、稀
472	ナデシコ目	ヤマゴボウ科	ヨウシュヤマゴボウ	<i>Phytolacca americana</i>	●				米原産、ごく普通
473	ナデシコ目	ヤマゴボウ科	ジュズサンゴ	<i>Rivina humilis</i>	●			総合その他	熱帯米原産
474	ナデシコ目	オシロイバナ科	オシロイバナ	<i>Mirabilis jalapa</i>	●				南米原産
475	ナデシコ目	ザクロソウ科	クルマバザクロソウ	<i>Mollugo verticillata</i>	●				熱帯米原産
476	ナデシコ目	ハゼラン科	ハゼラン	<i>Talinum triangulare</i>	●				栽培逸出
477	ナデシコ目	スベリヒユ科	ヒメマツバボタン	<i>Portulaca pilosa</i>	●			総合重点	熱帯米原産
478	ナデシコ目	スベリヒユ科	マツバボタン	<i>Portulaca pilosa</i> subsp. <i>grandiflora</i>	●				南米原産
479	ナデシコ目	サボテン科	ウチワサボテン	<i>Opuntia ficus-indica</i>	●				海岸岩場などにやや稀
480	ミズキ目	ミズキ科	カンレンボク	<i>Camptotheca acuminata</i>	●				中国南部原産、栽培逸出して稀、植栽はやや稀
481	ツツジ目	サクラソウ科	アカバナルリハコベ	<i>Anagallis arvensis</i> f. <i>arvensis</i>	●				ユーラシア原産、2000年以降に確認
482	ツツジ目	サクラソウ科	ルリハコベ	<i>Anagallis arvensis</i> f. <i>coerulea</i>	●				ユーラシア原産
483	ツツジ目	サクラソウ科	カイセンホウシュン	<i>Primula poissonii</i>	●				中国原産、2000年以降に確認
484	ツツジ目	ツバキ科	チャノキ	<i>Camellia sinensis</i>	●				中国原産、栽培逸出
485	ツツジ目	マタタビ科	オニマタタビ	<i>Actinidia chinensis</i> var. <i>deliciosa</i>	●				中国原産、栽培逸出してやや普通
486	リンドウ目	アカネ科	オオフタバムグラ	<i>Diodia teres</i>	●			総合その他	北米原産、海岸や河原などにやや稀
487	リンドウ目	アカネ科	メリケンムグラ	<i>Diodia virginiana</i>	●				北米原産
488	リンドウ目	アカネ科	コメツブヤエムグラ	<i>Galium divaricatum</i>	●				南欧州原産、2000年以降に確認
489	リンドウ目	アカネ科	タマザキフタバムグラ	<i>Hedyotis corymbosa</i>	●				
490	リンドウ目	アカネ科	ハナヤエムグラ	<i>Sherardia arvensis</i>	●				ユーラシア原産
491	リンドウ目	リンドウ科	ハナハマセンブリ	<i>Centaurium tenuiflorum</i>	●				欧州原産、荒地に普通
492	リンドウ目	キョウチクトウ科	トウワタ	<i>Asclepias curassavica</i>	●				熱帯米原産、栽培逸出
493	リンドウ目	キョウチクトウ科	ニチニチソウ	<i>Catharanthus roseus</i>	●				マダガスカル、ジャワ島、ブラジル原産

番号	目名	科名	種名	学名	由来		特定外 来生物	環境省等の 外来種区分	備考
					国外	国内			
494	リンドウ目	キョウチクトウ科	フウセントウワタ	<i>Gomphocarpus physocarpus</i>	●				南アフリカ原産
495	リンドウ目	キョウチクトウ科	ツルニチニチソウ	<i>Vinca major</i>	●			総合重点	欧州～北アフリカ原産、栽培逸出
496	ムラサキ目	ツルムラサキ科	アカザカズラ	<i>Anredera cordifolia</i>	●				南米原産
497	ムラサキ目	ツルムラサキ科	ツルムラサキ	<i>Basella alba</i>	●			総合その他	
498	ムラサキ目	ムラサキ科	ポリジ	<i>Borago officinalis</i>	●				南欧原産
499	ムラサキ目	ムラサキ科	イヌムラサキ	<i>Lithospermum arvense</i>	●				北半球温帯産
500	ムラサキ目	ムラサキ科	ノハラムラサキ	<i>Myosotis arvensis</i>	●				欧州原産
501	ムラサキ目	ムラサキ科	ヒレハリソウ	<i>Symphytum officinale</i>	●				欧州原産、栽培逸出
502	ナス目	ヒルガオ科	セイヨウヒルガオ	<i>Convolvulus arvensis</i>	●				欧州原産
503	ナス目	ヒルガオ科	アメリカネナシカズラ	<i>Cuscuta campestris</i>	●			総合その他	北米原産、海岸や河原などで寄生
504	ナス目	ヒルガオ科	カロライナアオイゴケ	<i>Dichondra carolinensis</i>	●				北米南部、メキシコ原産、2000年以降に確認
505	ナス目	ヒルガオ科	マルバルコウ	<i>Ipomoea coccinea</i>	●				熱帯米原産、荒地に普通
506	ナス目	ヒルガオ科	アメリカアサガオ	<i>Ipomoea hederacea</i> var. <i>hederacea</i>	●				熱帯米原産
507	ナス目	ヒルガオ科	マルバアメリカアサガオ	<i>Ipomoea hederacea</i> var. <i>integriscula</i>	●				北米原産
508	ナス目	ヒルガオ科	マメアサガオ	<i>Ipomoea lacunosa</i>	●				北米原産
509	ナス目	ヒルガオ科	アサガオ	<i>Ipomoea nil</i>	●				ヒマラヤ原産、栽培逸出
510	ナス目	ヒルガオ科	マルバアサガオ	<i>Ipomoea purpurea</i>	●				熱帯米原産
511	ナス目	ヒルガオ科	ベニバナマルバアサガオ	<i>Ipomoea purpurea</i>	●				
512	ナス目	ヒルガオ科	ルコウソウ	<i>Ipomoea quamoclit</i>	●				
513	ナス目	ヒルガオ科	ホシアサガオ	<i>Ipomoea triloba</i>	●			総合その他	南米原産、河原などに普通
514	ナス目	ヒルガオ科	ハリアサガオ	<i>Ipomoea turbinata</i>	●				
515	ナス目	ナス科	キダチチョウセンアサガオ	<i>Brugmansia suaveolens</i>	●				南米原産、栽培逸出して稀
516	ナス目	ナス科	シロバナヨウシュチョウセンアサガオ	<i>Datura stramonium</i> f. <i>stramonium</i>	●				熱帯米原産
517	ナス目	ナス科	ヨウシュチョウセンアサガオ	<i>Datura stramonium</i>	●				熱帯米原産
518	ナス目	ナス科	ケチョウセンアサガオ	<i>Datura wrightii</i>	●				北米原産、栽培逸出
519	ナス目	ナス科	クコ	<i>Lycium chinense</i>	●				
520	ナス目	ナス科	オオセンナリ	<i>Nicandra physalodes</i>	●				南米原産、栽培逸出
521	ナス目	ナス科	ホオズキ	<i>Physalis alkekengi</i> var. <i>franchetii</i>	●				東アジア原産、栽培逸出
522	ナス目	ナス科	ヒロハフウリンホオズキ	<i>Physalis angulata</i> var. <i>angulata</i>	●				熱帯米原産
523	ナス目	ナス科	センナリホオズキ	<i>Physalis angulata</i>	●				熱帯米原産
524	ナス目	ナス科	ショクヨウホオズキ	<i>Physalis grisea</i>	●				北米東部原産

番号	目名	科名	種名	学名	由来		特定外 来生物	環境省等の 外来種区分	備考
					国外	国内			
525	ナス目	ナス科	フウリンホオズキ	<i>Physalis pendula</i>	●				北米原産
526	ナス目	ナス科	ブドウホオズキ	<i>Physalis peruviana</i>	●				熱帯米原産
527	ナス目	ナス科	ケセンナリ	<i>Physalis pruinosa</i>	●				北米原産
528	ナス目	ナス科	ハコベホオズキ	<i>Salpichroa origanifolia</i>	●				南米原産
529	ナス目	ナス科	キンギンナスビ	<i>Solanum capsicoides</i>	●				
530	ナス目	ナス科	ワルナスビ	<i>Solanum carolinense</i>	●				北米原産
531	ナス目	ナス科	ルリヤナギ	<i>Solanum glaucophyllum</i>	●				南米原産、溜池などの水湿地に稀
532	ナス目	ナス科	ムラサキイヌホオズキ	<i>Solanum memphiticum</i>	●				南米原産
533	ナス目	ナス科	オオイヌホオズキ	<i>Solanum nigrescens</i>	●				北米原産
534	ナス目	ナス科	タマサngo	<i>Solanum pseudocapsicum</i> var. <i>pseudocapsicum</i>	●				ブラジル原産、栽培逸出
535	ナス目	ナス科	アメリカイヌホオズキ	<i>Solanum ptychanthum</i>	●				北米原産
536	ナス目	ナス科	トマトダマシ	<i>Solanum rostratum</i>	●				
537	ナス目	ナス科	ハリナスビ	<i>Solanum sisymbriifolium</i>	●				
538	ナス目	ナス科	カンザシイヌホオズキ	<i>Solanum</i> sp.	●				
539	シソ目	モクセイ科	レンギョウ	<i>Forsythia suspensa</i>	●				栽培逸出、法面移入
540	シソ目	モクセイ科	トウネズミモチ	<i>Ligustrum lucidum</i>	●			総合重点	栽培逸出
541	シソ目	オオバコ科	イエローバコパ	<i>Bacopa lanigera</i>	●				人工池に意図的移入
542	シソ目	オオバコ科	ウキアゼナ	<i>Bacopa rotundifolia</i>	●			総合その他	
543	シソ目	オオバコ科	ツタバウンラン	<i>Cymbalaria muralis</i>	●				欧州原産
544	シソ目	オオバコ科	キバナウンラン	<i>Linaria genistifolia</i> subsp. <i>Dalmatica</i>	●				欧州原産、栽培逸出
545	シソ目	オオバコ科	ヤナギウンラン	<i>Linaria maroccana</i>	●				北アフリカ原産
546	シソ目	オオバコ科	ヒメキンギョソウ	<i>Linaria purpurea</i>	●				欧州原産、栽培逸出
547	シソ目	オオバコ科	ホソバウンラン	<i>Linaria vulgaris</i>	●				欧州～アジア原産
548	シソ目	オオバコ科	アレチキンギョソウ	<i>Misopates orontium</i>	●				欧州原産、2000年以降に確認
549	シソ目	オオバコ科	マツバウンラン	<i>Nuttallanthus canadensis</i>	●				北米原産
550	シソ目	オオバコ科	アメリカオオバコ	<i>Plantago aristata</i>	●				熱帯米原産
551	シソ目	オオバコ科	イトバオオバコ	<i>Plantago heterophylla</i>	●				北米原産、2000年以降に確認
552	シソ目	オオバコ科	ヘラオオバコ	<i>Plantago lanceolata</i>	●				欧州原産
553	シソ目	オオバコ科	ツボミオオバコ	<i>Plantago virginica</i>	●				北米原産
554	シソ目	オオバコ科	エゾノカワヂシャ	<i>Veronica americana</i>	●				米原産
555	シソ目	オオバコ科	オオカワヂシャ	<i>Veronica anagallis-aquatica</i>	●		●	総合緊急	欧州～アジア原産
556	シソ目	オオバコ科	タチイヌノフグリ	<i>Veronica arvensis</i>	●				欧州原産

番号	目名	科名	種名	学名	由来		特定外 来生物	環境省等の 外来種区分	備考
					国外	国内			
557	シソ目	オオバコ科	フラサバソウ	<i>Veronica hederifolia</i>	●				欧州原産
558	シソ目	オオバコ科	オオイヌノフグリ	<i>Veronica persica</i>	●				欧州原産
559	シソ目	ゴマノハグサ科	フサフジウツギ	<i>Buddleja davidii</i>	●			総合重点	中国原産、栽培逸出、やや稀
560	シソ目	ゴマノハグサ科	モウズイカ	<i>Verbascum blattaria</i>	●				ユーラシア原産、稀
561	シソ目	ゴマノハグサ科	ビロードモウズイカ	<i>Verbascum thapsus</i>	●				ユーラシア原産
562	シソ目	アゼナ科	ヒメアメリカアゼナ	<i>Lindernia anagallidea</i>	●				北米原産、やや稀
563	シソ目	アゼナ科	タケトアゼナ	<i>Lindernia dubia</i> subsp. <i>dubia</i>	●				北米原産、水田や水湿地に普通
564	シソ目	アゼナ科	アメリカアゼナ	<i>Lindernia dubia</i> subsp. <i>major</i>	●				北米原産、水田や水湿地に普通
565	シソ目	アゼナ科	トレニア	<i>Torenia fournieri</i>	●				逸出して荒地に生育稀、定着はしない
566	シソ目	シソ科	セイヨウジュウニヒトエ	<i>Ajuga reptans</i>	●				欧州原産、栽培逸出して稀
567	シソ目	シソ科	ボタンクサギ	<i>Clerodendrum bungei</i>	●				中国南部原産、栽培逸出
568	シソ目	シソ科	フウリンサイ	<i>Clinopodium chinense</i>	●				2000年以降に確認
569	シソ目	シソ科	オオバヒキオコシ	<i>Isodon glaucocalyx</i>	●				
570	シソ目	シソ科	キレハヒメオドリコソウ	<i>Lamium dissectum</i>	●				欧州原産、稀
571	シソ目	シソ科	ヒメオドリコソウ	<i>Lamium purpureum</i>	●				欧州原産
572	シソ目	シソ科	ニガハッカ	<i>Marrubium vulgare</i>	●				ユーラシア原産
573	シソ目	シソ科	レモンバーム	<i>Melissa officinalis</i>	●				欧州南部、アジア西部原産
574	シソ目	シソ科	ヨウシュハッカ	<i>Mentha arvensis</i> subsp. <i>arvensis</i>	●				北半球に広分布
575	シソ目	シソ科	ナガバハッカ	<i>Mentha longifolia</i>	●				欧州原産
576	シソ目	シソ科	メグサハッカ	<i>Mentha pulegium</i>	●				欧州原産、2000年以降に確認
577	シソ目	シソ科	オランダハッカ	<i>Mentha spicata</i>	●				欧州原産、栽培逸出
578	シソ目	シソ科	マルバハッカ	<i>Mentha suaveolens</i>	●				欧州原産
579	シソ目	シソ科	アメリカハッカ	<i>Mentha × gentilis</i>	●				
580	シソ目	シソ科	コショウハッカ	<i>Mentha × piperita</i>	●				欧州原産
581	シソ目	シソ科	レモンエゴマ	<i>Perilla citriodora</i>	●				
582	シソ目	シソ科	ハナトラノオ	<i>Physostegia virginiana</i>	●				北米原産、栽培逸出やや普通
583	シソ目	シソ科	イヌヒメコヅチ	<i>Salvia reflexa</i>	●				北米～中央米原産
584	シソ目	シソ科	ヤブチョロギ	<i>Stachys arvensis</i>	●				欧州原産、荒地にやや普通
585	シソ目	シソ科	オトメイヌゴマ	<i>Stachys palustris</i>	●				欧州原産
586	シソ目	キリ科	キリ	<i>Paulownia tomentosa</i>	●				東アジア原産、栽培逸出
587	シソ目	ハマウツボ科	ヤセウツボ	<i>Orobanche minor</i> var. <i>minor</i>	●				欧州～北アフリカ原産、稀

番号	目名	科名	種名	学名	由来		特定外 来生物	環境省等の 外来種区分	備考
					国外	国内			
588	シソ目	ハマウツボ科	セイヨウヒキヨモギ	<i>Parentucellia viscosa</i>	●				地中海原産、荒地にやや稀
589	シソ目	キツネノマゴ科	サンゴバナ	<i>Justicia carnea</i>	●				南米原産
590	シソ目	キツネノマゴ科	ヤナギバルイラソウ	<i>Ruellia brittoniana</i>	●			総合その他	メキシコ原産、路傍にやや普通
591	シソ目	キツネノマゴ科	イセハナビ	<i>Strobilanthes japonica</i>	●				中国原産、栽培逸出し稀
592	シソ目	ノウゼンカズラ科	ツリガネカズラ	<i>Bignonia capreolata</i>	●				北米原産、栽培逸出
593	シソ目	ノウゼンカズラ科	ノウゼンカズラ	<i>Campsis grandiflora</i>	●				中国原産、栽培逸出し稀
594	シソ目	ノウゼンカズラ科	アメリカノウゼンカズラ	<i>Campsis radicans</i>	●				北米原産
595	シソ目	ノウゼンカズラ科	キササゲ	<i>Catalpa ovata</i>	●				中国原産、栽培逸出
596	シソ目	ノウゼンカズラ科	ヒメノウゼンカズラ	<i>Tecomaria capensis</i>	●				南アフリカ原産
597	シソ目	クマツヅラ科	ヒメビジョザクラ	<i>Glandularia tenera</i>	●				南米原産、栽培逸出
598	シソ目	クマツヅラ科	シチヘンゲ	<i>Lantana camara</i> var. <i>aculeata</i>	●			総合重点	熱帯米原産、暖地に普通
599	シソ目	クマツヅラ科	ヒメイワダレソウ	<i>Lippia canescens</i>	●			総合重点	東南アジア、南米原産、分布拡大
600	シソ目	クマツヅラ科	ヤナギハナガサ	<i>Verbena bonariensis</i>	●			総合その他	南米原産、栽培逸出
601	シソ目	クマツヅラ科	アレチハナガサ	<i>Verbena brasiliensis</i>	●			総合その他	南米原産、荒地にごく普通
602	シソ目	クマツヅラ科	ダキバアレチハナガサ	<i>Verbena incompta</i>	●			総合その他	南米原産
603	シソ目	クマツヅラ科	シュッコンバーバナ	<i>Verbena rigida</i>	●				南米原産、路傍にやや稀、2000年以降に確認
604	シソ目	ツノゴマ科	キバナツノゴマ	<i>Ibicella lutea</i>	●				南米原産
605	キク目	キキョウ科	ベニバナサワギキョウ	<i>Lobelia cardinalis</i>	●				北米原産、2000年以降に確認
606	キク目	キキョウ科	ルリミゾカクシ	<i>Lobelia erinus</i>	●				南アフリカ原産
607	キク目	キキョウ科	ヒナキキョウソウ	<i>Triodanis biflora</i>	●				北米原産、2000年以降に確認
608	キク目	キキョウ科	キキョウソウ	<i>Triodanis perfoliata</i>	●				北米原産
609	キク目	キク科	セイヨウノコギリソウ	<i>Achillea millefolium</i>	●				欧州原産、稀
610	キク目	キク科	マルバフジバカマ	<i>Ageratina altissima</i>	●			総合その他	北米原産、2000年以降に確認
611	キク目	キク科	カッコウアザミ	<i>Ageratum conyzoides</i>	●			総合その他	熱帯米原産、逸出して稀
612	キク目	キク科	ムラサキカニコウアザミ	<i>Ageratum houstonianum</i>	●			総合その他	熱帯米原産
613	キク目	キク科	ブタクサ	<i>Ambrosia artemisiifolia</i>	●				北米原産
614	キク目	キク科	ブタクサモドキ	<i>Ambrosia psilostachya</i>	●				北米原産
615	キク目	キク科	オオブタクサ	<i>Ambrosia trifida</i>	●			総合重点	北米原産
616	キク目	キク科	キゾメカミツレ	<i>Anthemis arvensis</i>	●				地中海原産
617	キク目	キク科	カミツレモドキ	<i>Anthemis cotula</i>	●				欧州原産
618	キク目	キク科	ゴボウ	<i>Arctium lappa</i>	●				北半球温帯原産、栽培逸出

番号	目名	科名	種名	学名	由来		特定外 来生物	環境省等の 外来種区分	備考
					国外	国内			
619	キク目	キク科	ノゴボウ	<i>Arctium lappa</i>	●				2000年以降に確認
620	キク目	キク科	ワタゲツルハ ナグルマ	<i>Arctotheca prostrata</i>	●			総合その他	栽培逸出
621	キク目	キク科	クソニンジン	<i>Artemisia annua</i>	●				アジア～東欧原産
622	キク目	キク科	ヤブヨモギ	<i>Artemisia rubripes</i>	●				中国、朝鮮、九州 原産
623	キク目	キク科	イワヨモギ	<i>Artemisia sacrorum</i>	●				
624	キク目	キク科	ハイイロヨモ ギ	<i>Artemisia sieversiana</i>	●				アジア大陸原産
625	キク目	キク科	キンバイタウ コギ	<i>Bidens aurea</i>	●				中米原産
626	キク目	キク科	コバノセンダ ングサ	<i>Bidens bipinnata</i>	●				熱帯米原産
627	キク目	キク科	アメリカセン ダングサ	<i>Bidens frondosa</i>	●			総合その他	北米原産
628	キク目	キク科	コセンダング サ	<i>Bidens pilosa</i> var. <i>pilosa</i>	●				世界的広分布
629	キク目	キク科	アワユキセン ダングサ	<i>Bidens pilosa</i> var. <i>bisetosa</i>	●				
630	キク目	キク科	アイノコセン ダングサ	<i>Bidens pilosa</i> var. <i>intermedia</i>	●				
631	キク目	キク科	オワリセンダ ングサ	<i>Bidens subalternans</i>	●				南米原産、稀
632	キク目	キク科	ヒレアザミ	<i>Carduus crispus</i>	●				欧州～アジア原産
633	キク目	キク科	ローマカミツ レ	<i>Chamaemelum nobile</i>	●				欧州原産
634	キク目	キク科	キクタニギク	<i>Chrysanthemum seticuspe</i> f. <i>boreale</i>		●			
635	キク目	キク科	キクニガナ	<i>Cichorium intybus</i>	●				地中海沿岸
636	キク目	キク科	オオキンケイ ギク	<i>Coreopsis lanceolata</i>	●		●	総合緊急	北米原産
637	キク目	キク科	ハルシャギク	<i>Coreopsis tinctoria</i>	●			総合その他	北米原産
638	キク目	キク科	コスモス	<i>Cosmos bipinnatus</i>	●				メキシコ原産、栽 培逸出
639	キク目	キク科	キバナコスモ ス	<i>Cosmos sulphureus</i>	●				熱帯米原産、栽 培逸出
640	キク目	キク科	マメカミツレ	<i>Cotula australis</i>	●				豪州原産
641	キク目	キク科	ベニバナボロ ギク	<i>Crassocephalum crepidioides</i>	●				ブラジル原産
642	キク目	キク科	ヤネタビラコ	<i>Crepis tectorum</i>	●				
643	キク目	キク科	アメリカタカ サブロウ	<i>Eclipta alba</i>	●				北米原産
644	キク目	キク科	ダンドボロギ ク	<i>Erechtites hieraciifolius</i> var. <i>hieraciifolius</i>	●				北米原産
645	キク目	キク科	ヒメジョオン	<i>Erigeron annuus</i>	●			総合その他	北米原産
646	キク目	キク科	アレチノギク	<i>Conyza bonariensis</i>	●				南米原産
647	キク目	キク科	ヒメムカシヨ モギ	<i>Conyza canadensis</i>	●				北米原産
648	キク目	キク科	ペラペラヨメ ナ	<i>Erigeron karvinskianus</i>	●			総合その他	中央米原産
649	キク目	キク科	ケナシヒメム カシヨモギ	<i>Conyza parva</i>	●			総合その他	北米原産
650	キク目	キク科	ハルジオン	<i>Erigeron philadelphicus</i>	●				北米原産

番号	目名	科名	種名	学名	由来		特定外 来生物	環境省等の 外来種区分	備考
					国外	国内			
651	キク目	キク科	ヤナギバヒメ ジョオン	<i>Erigeron pseudoannuus</i>	●				北米原産
652	キク目	キク科	ヘラバヒメ ジョオン	<i>Erigeron strigosus</i>	●				北米原産
653	キク目	キク科	オオアレチノ ギク	<i>Conyza sumatrensis</i>	●				南米、世界的広分布
654	キク目	キク科	オオテンニン ギク	<i>Gaillardia aristata</i>	●				北米原産、栽培逸出
655	キク目	キク科	テンニンギク	<i>Gaillardia pulchella</i> var. <i>picta</i>	●				北米原産
656	キク目	キク科	コゴメギク	<i>Galinsoga parviflora</i>	●				熱帯米原産
657	キク目	キク科	ハキダメギク	<i>Galinsoga quadriradiata</i>	●				熱帯米原産
658	キク目	キク科	チチコグサモ ドキ	<i>Gamochaeta pensylvanica</i>	●				
659	キク目	キク科	ウスベニチチ コグサ	<i>Gamochaeta purpurea</i>	●				
660	キク目	キク科	ホソバノチチ コグサモドキ	<i>Gamochaeta calviceps</i>	●				米大陸原産
661	キク目	キク科	ウラジロチチ コグサ	<i>Gamochaeta coarctata</i>	●				米大陸原産
662	キク目	キク科	サンシチソウ	<i>Gynura japonica</i>	●				中国原産
663	キク目	キク科	シロタエヒマ ワリ	<i>Helianthus argophyllus</i>	●				北米原産、栽培逸出
664	キク目	キク科	イヌキクイモ	<i>Helianthus strumosus</i>	●				北米原産
665	キク目	キク科	キクイモ	<i>Helianthus tuberosus</i>	●				北米原産
666	キク目	キク科	ウズラバタン ポポ	<i>Hieracium maculatum</i>	●				
667	キク目	キク科	ヒメブタナ	<i>Hypochaeris glabra</i>	●				欧州原産、やや稀
668	キク目	キク科	ブタナ	<i>Hypochaeris radicata</i>	●				欧州原産
669	キク目	キク科	チシャ	<i>Lactuca sativa</i>	●				ユーラシア原産、栽培逸出
670	キク目	キク科	トゲチシャ	<i>Lactuca serriola</i>	●				欧州原産、やや稀
671	キク目	キク科	マルバトゲチ シャ	<i>Lactuca serriola</i> f. <i>integrifolia</i>	●				欧州原産
672	キク目	キク科	フランスギク	<i>Leucanthemum vulgare</i>	●			総合その他	欧州原産、栽培逸出
673	キク目	キク科	ノースポール	<i>Leucoglossum paludosum</i>	●				北アフリカ原産、栽培逸出やや普通
674	キク目	キク科	カミツレ	<i>Matricaria chamomilla</i>	●				ユーラシア原産
675	キク目	キク科	コシカギク	<i>Matricaria matricarioides</i>	●				北半球北部
676	キク目	キク科	メランポディ ウム	<i>Melampodium paludosum</i>	●				北米原産、栽培逸出
677	キク目	キク科	コウリンタン ポポ	<i>Pilosella aurantiaca</i>	●			総合その他	欧州原産
678	キク目	キク科	キバナコウリ ンタンポポ	<i>Pilosella caespitosa</i>	●			総合その他	欧州原産
679	キク目	キク科	セイタカハハ コグサ	<i>Pseudognaphalium luteoalbum</i>	●				世界的広分布
680	キク目	キク科	アラゲハンゴ ンソウ	<i>Rudbeckia hirta</i> var. <i>pulcherrima</i>	●				北米原産
681	キク目	キク科	キヌガサギク	<i>Rudbeckia hirta</i> var. <i>pulcherrima</i>	●				北米原産
682	キク目	キク科	オオハンゴン ソウ	<i>Rudbeckia laciniata</i>	●		●	総合緊急	北米原産

番号	目名	科名	種名	学名	由来		特定外 来生物	環境省等の 外来種区分	備考
					国外	国内			
683	キク目	キク科	ミツバオオハ ンゴンソウ	<i>Rudbeckia triloba</i>	●				北米原産
684	キク目	キク科	イトバギク	<i>Schkuhria pinnata</i> var. <i>abrotanoides</i>	●				メキシコ原産
685	キク目	キク科	ノボロギク	<i>Senecio vulgaris</i>	●				欧州原産
686	キク目	キク科	オオアザミ	<i>Silybum marianum</i>	●				欧州～北アフリカ 原産
687	キク目	キク科	セイタカアワ ダチソウ	<i>Solidago altissima</i>	●			総合重点	北米原産
688	キク目	キク科	オオアワダチ ソウ	<i>Solidago gigantea</i> subsp. <i>serotina</i>	●			総合重点	北米原産
689	キク目	キク科	イガトキンソ ウ	<i>Soliva anthemifolia</i>	●				南米原産
690	キク目	キク科	メリケントキ ンソウ	<i>Soliva sessilis</i>	●				南米原産
691	キク目	キク科	オニノゲシ	<i>Sonchus asper</i>	●				欧州原産
692	キク目	キク科	ノゲシ	<i>Sonchus oleraceus</i>	●				
693	キク目	キク科	台湾ハチ ジョウナ	<i>Sonchus wightianus</i>	●				台湾、沖縄原産
694	キク目	キク科	ステビア	<i>Stevia rebaudiana</i>	●				中米原産、2000年 以降に確認
695	キク目	キク科	ヒロハホウキ ギク	<i>Symphotrichum subulatum</i> var. <i>squamatum</i>	●				北米原産
696	キク目	キク科	ホウキギク	<i>Symphotrichum subulatum</i> var. <i>subulatum</i>	●				北米原産
697	キク目	キク科	シオザキソウ	<i>Tagetes minuta</i>	●				南米原産
698	キク目	キク科	フレンチ・マ リーゴールド	<i>Tagetes patula</i>	●				メキシコ原産
699	キク目	キク科	ナツシロギク	<i>Tanacetum parthenium</i>	●				ユーラシア原産、 栽培逸出
700	キク目	キク科	アカミタンポ ポ	<i>Taraxacum laevigatum</i>	●				欧州原産
701	キク目	キク科	セイヨウタン ポポ	<i>Taraxacum officinale</i>	●				欧州原産
702	キク目	キク科	カラクサシュ ンギク	<i>Thymophylla tenuiloba</i>	●				北米～メキシコ原 産、2000年以降に 確認
703	キク目	キク科	イヌカミツレ	<i>Tripleurospermum</i> <i>maritimum</i> subsp. <i>inodorum</i>	●				ユーラシア原産
704	キク目	キク科	イガオナモミ	<i>Xanthium orientale</i> subsp. <i>italium</i>	●				世界的広分布、荒 れ地にやや稀
705	キク目	キク科	オオオナモミ	<i>Xanthium orientale</i> subsp. <i>orientale</i>	●			総合その他	北米原産、荒れ地 にごく普通
706	マツムシソ ウ目	スイカズラ 科	ウスベニカノ コソウ	<i>Centranthus macrosiphon</i>	●				欧州原産、栽培逸 出
707	マツムシソ ウ目	スイカズラ 科	ノヂシャ	<i>Valerianella locusta</i>	●				欧州原産
708	マツムシソ ウ目	スイカズラ 科	シロノヂシャ	<i>Valerianella radiata</i> f. <i>parviflora</i>	●				北米原産、2000年 以降に確認
709	マツムシソ ウ目	スイカズラ 科	ハコネウツギ	<i>Weigela coraeensis</i> var. <i>coraeensis</i>	●				
710	セリ目	ウコギ科	ヒメウコギ	<i>Eleutherococcus</i> <i>sieboldianus</i>	●				中国原産、栽培逸 出
711	セリ目	ウコギ科	ブラジルチド メグサ	<i>Hydrocotyle ranunculoides</i>	●		●	総合緊急	南米原産、河川で 稀
712	セリ目	ウコギ科	タテバチドメ グサ	<i>Hydrocotyle vulgaris</i>	●			総合重点	欧州原産、溜池に 稀
713	セリ目	ウコギ科	カミヤツデ	<i>Tetrapanax papyrifer</i>	●			総合その他	東南アジア原産、 栽培逸出

番号	目名	科名	種名	学名	由来		特定外来生物	環境省等の外来種区分	備考
					国外	国内			
714	セリ目	セリ科	ノハラジャク	<i>Anthriscus scandicina</i>	●				欧州原産、2000年以降に確認
715	セリ目	セリ科	コエンドロ	<i>Coriandrum sativum</i>	●				地中海原産
716	セリ目	セリ科	マツバゼリ	<i>Cyclospermum leptophyllum</i>	●				熱帯米原産、草地に普通
717	セリ目	セリ科	ノラニンジン	<i>Daucus carota</i> subsp. <i>carota</i>	●				欧州原産、栽培逸出
718	セリ目	セリ科	ウイキョウ	<i>Foeniculum vulgare</i>	●				南欧州～西アジア原産
719	セリ目	セリ科	オルレア	<i>Orlaya grandiflora</i>	●				欧州原産、2000年以降に確認
720	セリ目	セリ科	ミツバグサ	<i>Pimpinella diversifolia</i>		●			芝生付随移入品、四国・九州原産
721	セリ目	セリ科	ナガミノセリ モドキ	<i>Scandix pecten-veneris</i>	●				地中海沿岸
722	セリ目	セリ科	タマヤブジラ ミ	<i>Torilis nodosa</i>	●				欧州原産

② 記録種（-種）

該当なし

(11) 植物（コケ植物）

① 定着種（1種）

番号	目名	科名	種名	学名	由来		特定外来生物	環境省等の外来種区分	備考
					国外	国内			
1	ミカヅキゼニゴケ目	ミカヅキゼニゴケ科	ミカヅキゼニゴケ	<i>Lunularia cruciata</i>	●			総合その他	1996年に初確認、近年県内各地に分布

② 記録種（-種）

該当なし

山口県外来種リスト

発行日 平成 30 年 3 月 28 日

発行元 山口県環境生活部自然保護課
〒753-8501 山口市滝町 1 番 1 号
TEL: (083)933-3050